Panasonic®

取扱説明書
（応用編）

PTS-RPN0015
PTS-RPV0015
PTS-RPD0015

読取革命
日本語・英語活字カラーOCRソフト

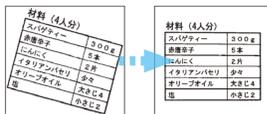
Ver.15

対応
Windows® 8
Windows® 7
Windows Vista®
Windows® XP Home Edition
Windows® XP Professional

COLOR OCR

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、必要なときにお読みください。

本書の使い方

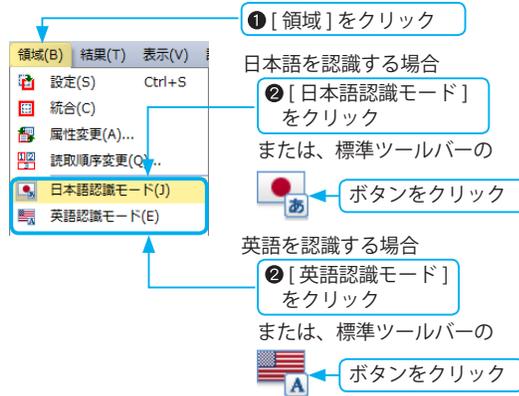
タイトルと内容
タイトルの下の欄には、この機能についての簡単な説明やどのような場面で使うと有効であるかを記載しています。
操作モード
[標準モード] には、5 つの操作モードがあります。操作モードが指定されている場合は、指定された操作モードで操作してください。
傾き補正
画像ウィンドウに表示された画像に対して、自動的に傾斜角度を検出し傾きを補正します。また、傾き補正は手動でも行えます。
画像が見開きページの場合は、左右のページごとに自動・手動で傾きを補正できます。
領域設定モード
1 メニューを選択する
❶[画像] をクリック
❷[傾き補正] を選択
❸いずれかを選択
または、画像編集ツールバーの
①▼をクリック
②いずれかを選択
自動
手動
見開き
自動傾き補正
2 実行結果
傾きが自動で補正されます。
※ 45 度以上傾いている画像は、傾き補正できません。画像を [回転] させたあとで、傾き補正を実行してください。
(☞「回転」基本編 P.95)
※ツールバーのボタンには、前回選択した機能を示すアイコンが前面に表示されます。同じ操作を行う場合は、ボタン部分をクリックするだけで前回と同じ操作を実行できます。
※操作を取り消すには
(☞「元に戻す」基本編 P.119)
基本操作
91
章のタグ
タグの位置は章ごとに違います。
章のタイトル
参照先
関連する機能や、詳細な説明が記載されている項目を「☞」のあとに紹介します。
補足説明
補足説明や別の操作手順を記載しています。
また、本タイトルの操作に関連する応用機能などの説明も記載しています。
本文
タイトルの操作を行う基本的な手順を記載しています。

応用編　目 次

応用操作

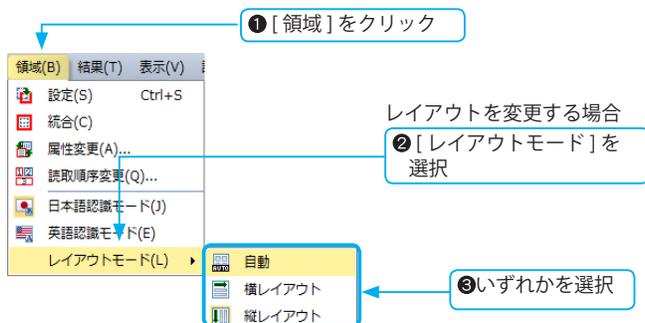
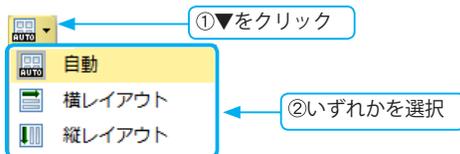
認識モードを変更する

認識モードには、日本語と英語の 2 種類があります。文字領域のレイアウト属性は、レイアウト認識前に設定されている認識モードによって決まります。原稿内に日本語が多い場合は、[日本語認識モード] で、また、英語だけの原稿は [英語認識モード] で認識を実行されることをお勧めします。

※レイアウト認識後、領域枠を選択して領域枠ごとに認識モードが変更できます。
(☞「領域枠の属性変更」基本編 P.87)

1 認識モードを選択する

レイアウトモードを変更する

レイアウトモードには、自動と横レイアウト、縦レイアウトの 3 種類があります。文字領域のレイアウト属性は、レイアウト認識前に設定されているレイアウトモードによって決まります。原稿が横書きのみ場合は、[横レイアウトモード] で、また、縦書きのみ原稿は [縦レイアウトモード] で認識を実行されることをお勧めします。

1 レイアウトモードを選択する

または、標準ツールバーの

文字の結合をするには

複数の文字列として認識された文字を、１つの文字として再認識させることができます。

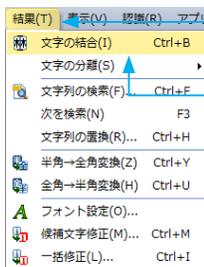
1 文字列を指定する

■作り方■

1. 大きめの鍋に塩をカロえたた

2. フライパンにオリーブオイル、

認識結果ウィンドウで、結合する文字の前でマウスの 左ボタンをクリックしたままドラッグ

2 文字の結合を実行する

3 実行結果

■作り方■

1. 大きめの鍋に塩を加えたたっ

2. フライパンにオリーブオイル、

再認識が実行され、認識結果の文字が入れ替わります。

※範囲指定した文字列の中に、改行・空白・入力文字が含まれる場合は [文字の結合] は実行できません。

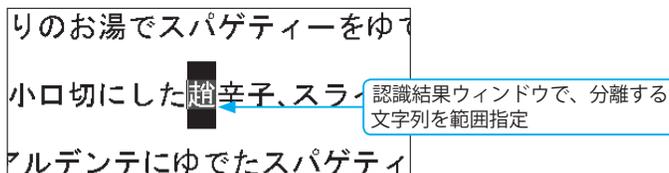
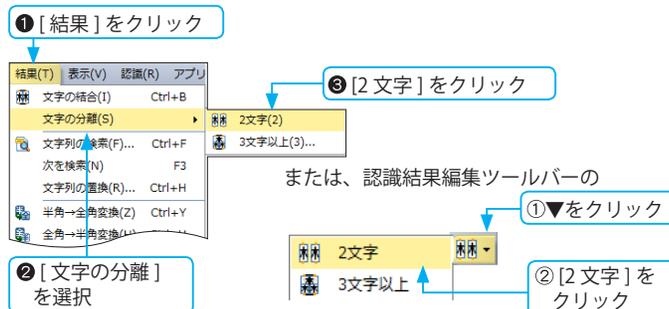
※操作を取り消すには
(☞「元に戻す」基本編 P.119)

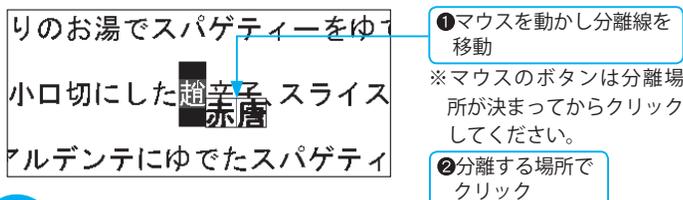
文字の分離をするには

1 文字として認識された文字を、複数の文字に分離して再認識させます。

2 文字に分離する

1 文字を指定する

認識結果ウィンドウで、分離する文字列を範囲指定

2 文字の分離を実行する

※範囲指定した文字列の中に、改行・空白・入力文字が含まれる場合は [文字の分離] は実行できません。

3 分離する場所を指定する

❶マウスを動かし分離線を移動

※マウスのボタンは分離場所が決まってからクリックしてください。

❷分離する場所でクリック

分離線の縦 / 横を切り替える場合

[Ctrl] キーを押すごとに縦 / 横を切り替えます。

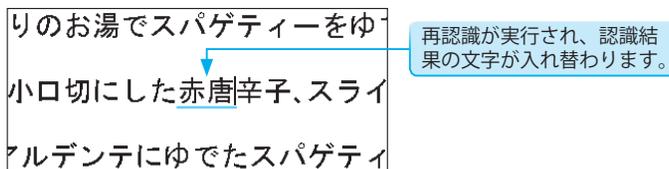
分離する場所を指定する場合

分離する場所は、以下の操作でも指定できます。

① [矢印] キーを押す。

②分離する場所で [Enter] キーを押す。

4 実行結果

再認識が実行され、認識結果の文字が入れ替わります。

※操作を取り消すには
(☞「元に戻す」基本編 P.119)

3 文字に分離する

1 文字を指定する

1. 大きめの鍋に塩を加
2. フライ訟オリーブオ
3. にんにくの香りがで

認識結果ウィンドウで、分離する文字列を範囲指定

2 文字の分離を実行する

3 分離する場所を指定する

分離線の縦 / 横を切り替える場合

[Ctrl] キーを押すごとに縦 / 横を切り替えます。

分離する場所を指定する場合

分離する場所は、以下の操作でも指定できます。

① [矢印] キーを押す。

②分離する場所で [スペース] キーを押す。

4 実行結果

1. 大きめの鍋に塩を加
2. フライパンにオリー
3. にんにくの香りがで

再認識が実行され、認識結果の文字が入れ替わります。

※操作を取り消すには
(☞「元に戻す」基本編 P.119)

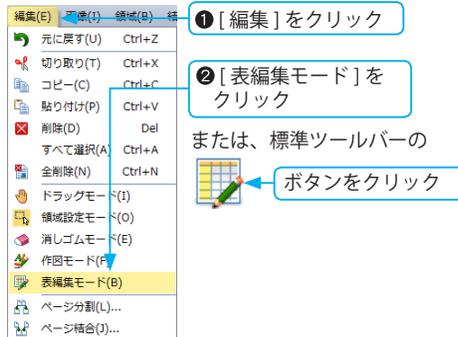
表を編集する

表領域は、罫線の追加や削除、セルごとの属性変更ができます。
画像に表のレイアウト枠がない場合、表編集モードは選択できません。

1 表をレイアウト認識する

表をレイアウト認識するには、次の方法があります。

- 表を含んだ画像全体を、自動的にレイアウト認識する。
  (☞「レイアウト認識を行う」基本編 P.100)
- 表領域を手動で設定して、属性変更で表に変更する。
  (☞「領域枠の属性変更」基本編 P.87)
- 指定した領域に対して [罫線の自動挿入] を実行する。
  (☞「自動罫線追加」応用編 P.14)

2 表編集モードにする

※ [表編集モード] を終了する場合は、ほかのモードを選択してください。
(☞「操作モードの切り替え」基本編 P.97)

3 表を編集する

表編集モード

■ 罫線を追加する場合

マウスポインターの形状が鉛筆に変わります。罫線を追加する場所に、鉛筆で線を描くように罫線を追加できます。

■ 罫線を削除する場合

マウスポインターの形状がハサミに変わります。削除する罫線の上をハサミでなぞるようにして罫線の削除ができます。表罫線を削除して複数のセルを 1 つに結合します。

■ セルの属性を変更する場合

セルごとに属性の変更ができます。変更するセルをクリックし、属性変更を行ってください。(クリックするとセル背景が水色に変わります)

セルの属性変更を行う場合

表編集モードの [セルの属性変更] では、[OK][キャンセル] の 2 つのボタンと [規定値として設定] チェックボックスは使用できません。その他の「属性変更」の方法は「領域枠の属性変更」基本編 P.87 を参照してください。

自動罫線追加

指定した範囲内を、強制的に表領域としてレイアウト認識し、領域内に罫線を自動挿入します。
通常のレイアウト認識で 1 つの表領域としてレイアウト認識されていない場合に利用すると便利です。
※範囲内に既に領域枠が存在する場合は、表領域として再認識されます。

領域設定モード

読取順序について
領域枠が何もない領域を範囲指定して実行した場合、読取順序は最後に追加されます。

※既に表領域として認識されている領域枠だけを選択して実行した場合、認識結果は削除されます。

1 領域を指定する

品番	銘柄	ターゲット層	円/100g	前年比%
TM-1	安曇山麓乳酸菌飲料Kef'a	20代以上のOL	51	154. 6
TM-2	高山のヨーグルトおなかすこやか	無設定	28	85. 1
TM-3	ヨーグルトソースブルーベリー味	30代以上の主婦	105	124. 9
TM-4	業対ヨーグルト	無設定	105	101. 7
TM-5	元気印チーズキャンディー	園児・児童などの14歳以下の子供	24	112. 4

表認識する範囲をドラッグで範囲指定するか、領域枠を選択

※領域枠をクリックで選択する場合は、1 つの領域枠しか選択できません。

2 [自動罫線追加] を実行する

❶ [認識] をクリック

❷ [自動罫線追加] をクリック

または、標準ツールバーの

ボタンをクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」応用編 P.37 を参照してください。

3 実行結果

■ [自動罫線追加] を行った場合

品番	銘柄	ターゲット層	円/100g	前年比%
TM-1	安曇山麓乳酸菌飲料Kef'a	20代以上のOL	51	154. 6
TM-2	高山のヨーグルトおなかすこやか	無設定	28	85. 1
TM-3	ヨーグルトソースブルーベリー味	30代以上の主婦	105	124. 9
TM-4	業対ヨーグルト	無設定	105	101. 7
TM-5	元気印チーズキャンディー	園児・児童などの14歳以下の子供	24	112. 4

指定した範囲が 1 つの表領域としてレイアウト認識されます。

■参考：通常のレイアウト認識を行った場合

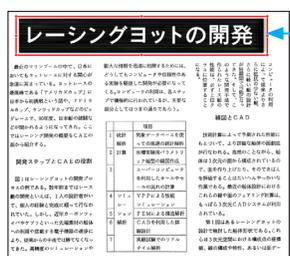
品番	銘柄	ターゲット層	円/100g	前年比%
TM-1	安曇山麓乳酸菌飲料Kef'a	20代以上のOL	51	154. 6
TM-2	高山のヨーグルトおなかすこやか	無設定	28	85. 1
TM-3	ヨーグルトソースブルーベリー味	30代以上の主婦	105	124. 9
TM-4	業対ヨーグルト	無設定	105	101. 7
TM-5	元気印チーズキャンディー	園児・児童などの14歳以下の子供	24	112. 4

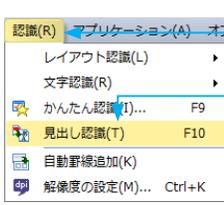
1 つの表領域としてレイアウト認識されていません。

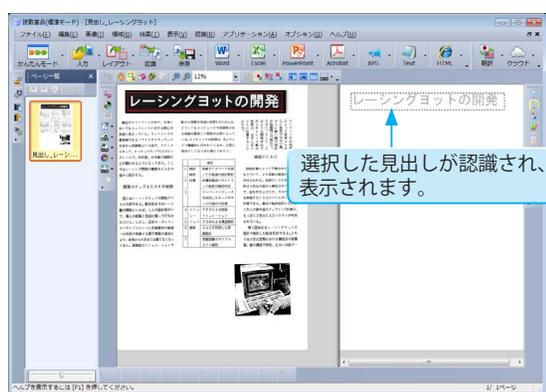
見出し認識

文字の背景が網掛けされた見出しなどを文字認識します。
見出しに背景や網掛けなどの模様が入っている場合、そのままでは正しく文字認識されません。「見出し認識」を使うと、背景や模様部分を除去して文字認識が行えます。(背景の種類によっては、文字認識できない場合があります)

領域設定モード

1 認識する見出しを選択する

※ (☞「領域枠の選択」基本編 P.84)

2 [見出し認識] を実行する

3 実行結果

※文字のサイズが大きい場合や、文字の背景の模様によっては、認識されない場合があります。

認識結果の読み上げ

認識結果ウィンドウの認識結果を音声出力する機能です。
例えば、数字の０（ゼロ）と英語のＯ（オー）など、一見区別がつきにくい文字もスムーズに確認できます。

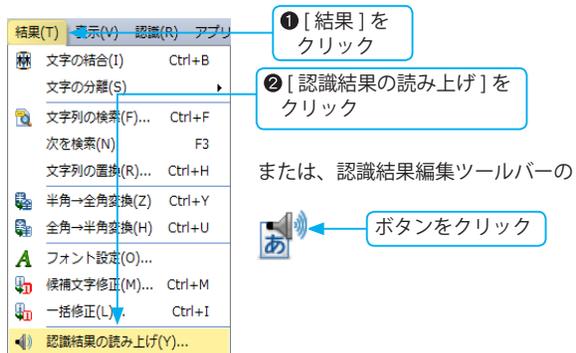
※認識結果を読み上げる場合は、高知システム開発社の「PC-Talker 7 II / Vista II / XP5」がインストールされている必要があります。

1 読み上げ文字を指定する

〜にんにくと唐辛子のシンプルパスタ〜
基本のレシピを覚えておけば、パスタのバリエーションがひろがります。

読み上げを開始する場所にカーソルを移動

※ 部分的に読み上げる場合は、読み上げる文字を選択します。

2 メニューを選択する

※認識結果を読み上げる範囲は、認識結果の表示状態で変わります。
- テキスト表示 / ハイパーチェッカー：カーソルの位置から認識結果の最後まで読み上げます。
- 領域表示 / カラーリアル表示：カーソルの位置からカーソルがある領域の最後まで読み上げます。

3 実行結果

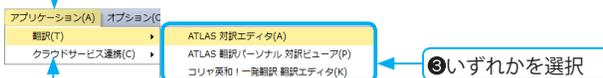
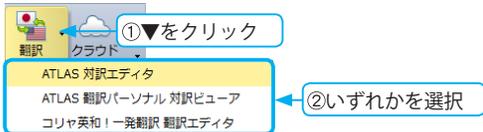
ダイアログが表示され、認識結果の読み上げを開始します。

※吹き出しに表示される文字はスクロールできないため、読み上げる文字数によってはすべて表示できない場合があります。

認識結果の翻訳

翻訳ソフトウェア「ATLAS」、「ATLAS 翻訳パーソナル」、「コリャ英和！一発翻訳」と連携し、認識結果を翻訳します。

※「ATLAS 対訳エディタ」/「ATLAS 翻訳パーソナル 対訳ビューア」/「コリャ英和！一発翻訳 翻訳エディタ」で認識結果を翻訳する場合は、各ソフトウェアがインストールされている必要があります。

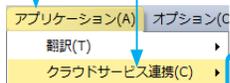
1 メニューを選択する

2 実行結果

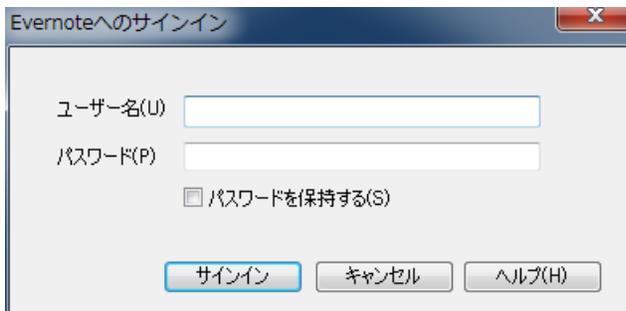
翻訳ソフトウェアが起動し、翻訳の結果が表示されます。

クラウドサービス連携

「Evernote」と連携し、認識結果を登録します。

※クラウドサービス連携を Windows 8 でご使用の場合は、別途、Microsoft .NET Framework 3.5 をインストールする必要があります。

1 メニューを選択する

または、ツールバーの

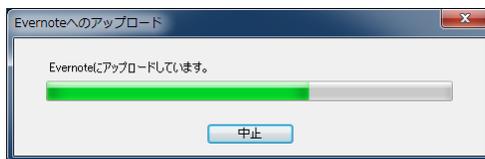
2 サインインする

Evernote サインイン画面が表示されます。

ユーザー名：前回 OK で画面を閉じたときに入力していたユーザー名が表示されます。
パスワード：前回「パスワードを保存」を ON にして、OK で画面を閉じた場合のみ、前回入力していたパスワードが表示されます。
パスワードを保持する：前回 OK で画面を閉じたときに設定した ON/OFF が反映されます。初期設定は OFF になっています。

3 アップロード設定を行う

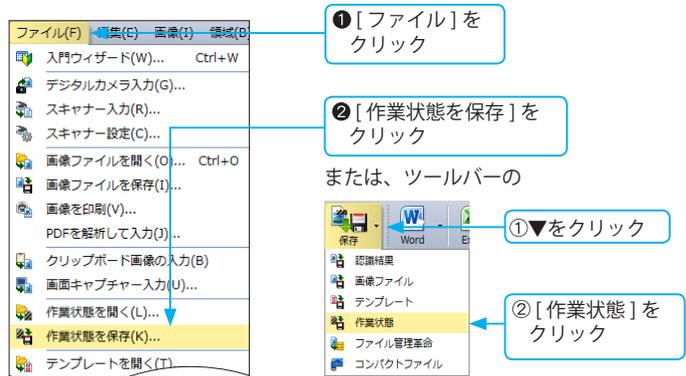
4 処理内容を設定して実行する

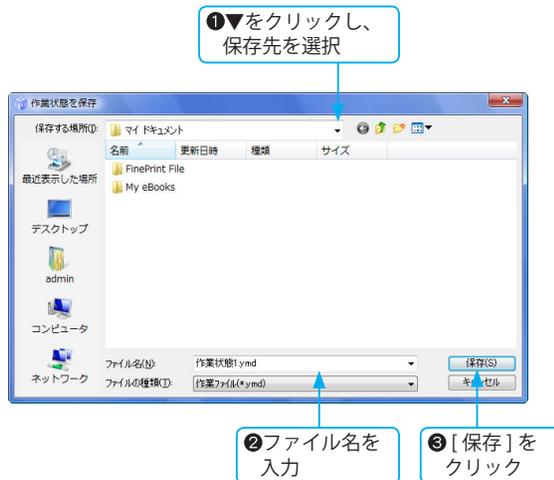
※処理内容の設定方法については、次の項目を参照してください。
(☞「コンパクトファイルの保存」基本編 P.122)

5 実行結果

[Evernote へのアップロード] ダイアログボックスが表示され、アップロードが開始されます。進行状況はプログレスバーで表示されます。[中止] ボタンをクリックするとアップロードの処理を中断することができます。

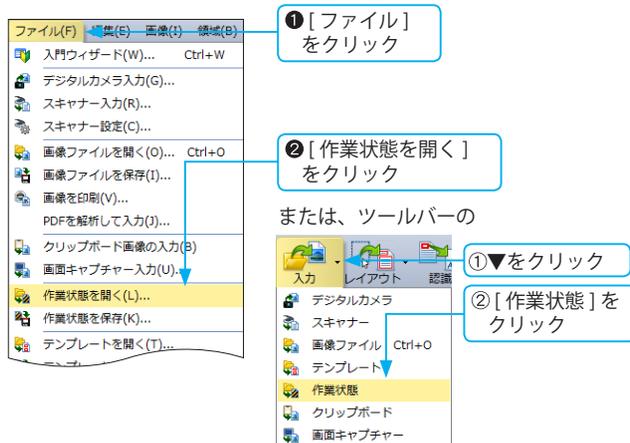
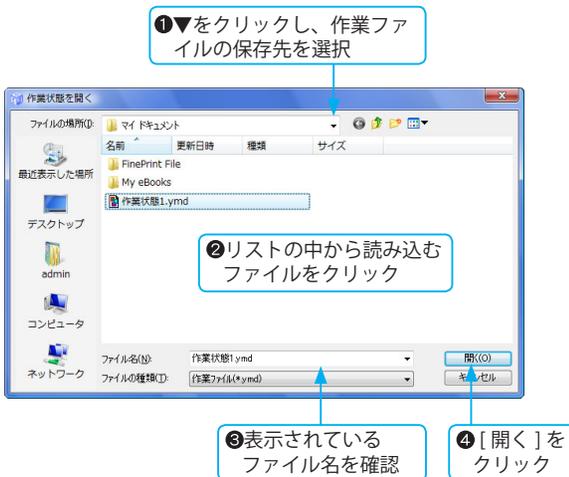
作業ファイルを保存して作業を中断する

作業の途中でほかの画像ファイルの作業を行う、もしくは「読取革命」を終了し、そのあと再び作業の続きを行う場合は、作業状態をファイルに保存しておきます。[作業状態を開く] を実行すると、画像と認識結果が保存しておいた状態で表示され、再び作業の続きを行うことができます。
(☞「作業ファイルを開いて作業を再開する」応用編 P.21)

1 [作業状態を保存] を選択する

2 作業ファイルの保存先を指定する

※既に同名のファイルが存在する場合は、上書き確認のメッセージダイアログボックスが表示されます。

作業ファイルを開いて作業を再開する

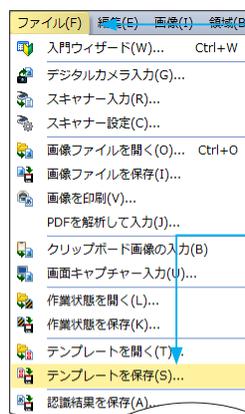
保存した作業状態ファイルを開くと、保存したときの画像・認識結果の状態を開き、再び作業の続きを行うことができます。(☞「作業ファイルを保存して作業を中断する」応用編 P.20)

1 [作業状態を開く] を選択する

2 作業ファイルを指定する

画像と認識結果が、作業を中断したときの状態で表示されます。

テンプレートで同じ形式のページを認識する

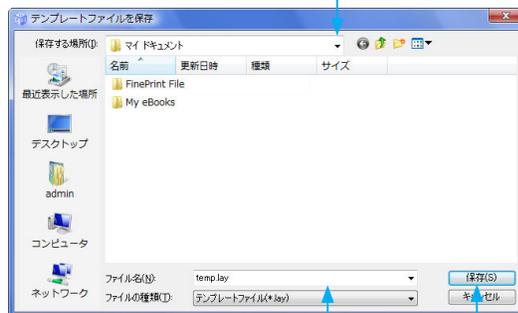
同じレイアウトの原稿を認識する場合には、レイアウト情報 (領域枠の位置・サイズ・属性) をテンプレートとして保存し、繰り返し利用できます。テンプレートを利用すれば、ページごとのレイアウト認識、または領域設定を行う操作を省略できます。
※テンプレートは同じ解像度で入力した画像に対して有効となります。

テンプレートを保存する

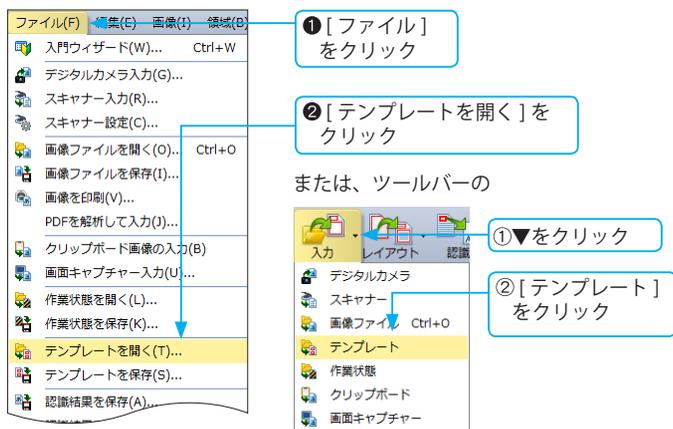
1 [テンプレートを保存] を選択する

2 テンプレートファイルの保存先を指定する

テンプレートを作るには

1 ページだけレイアウト認識するか、手動で領域設定を行います。
(☞「レイアウト認識を行う」基本編 P.100)
(☞「領域枠の設定」基本編 P.83)

※既に同名のファイルが存在する場合は、上書き確認のメッセージダイアログボックスが表示されます。

テンプレートを開く

1 [テンプレートを開く] を選択する

2 開くテンプレートファイルを指定する

※テンプレートから読み込んだ領域枠が、画像に対してずれている場合は、手動で修正してください。
(☞「領域枠の設定」基本編 P.83)

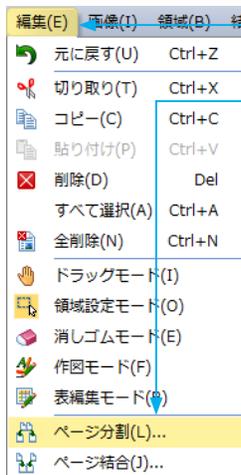
領域枠が、テンプレートを保存したときの状態で表示されます。認識を実行してください。

文字認識を実行する前に

「環境設定」の [認識] タブの設定で、[領域設定済みのページをレイアウト認識する] をオフにしておいてください。オンになっている状態で文字認識を実行すると、自動で領域枠が再設定され (テンプレートとは関係のない自動判定によるもの)、文字認識が行われます。
(☞「[認識] タブの設定」応用編 P.89)

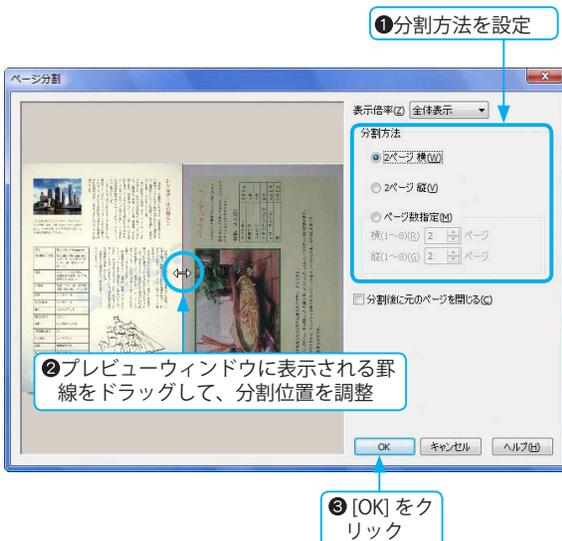
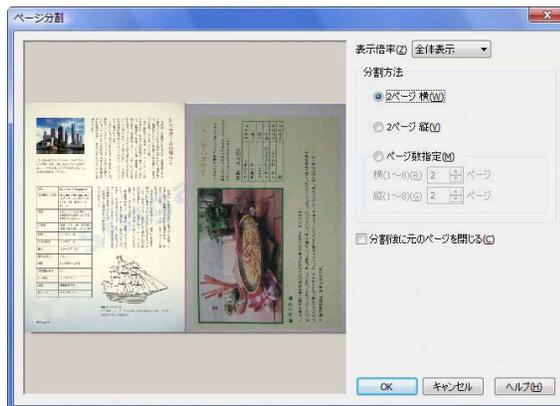
ページを分割する

読み込んだ画像を複数ページに分割します。
見開きページの画像を 2 分割してそれぞれ別ページに分けるときなどに便利です。

1 メニューを選択する

または、標準ツールバーの

[ページ分割] をクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」応用編 P.37 を参照してください。

2 分割するページを指定する

■ページ分割 ダイアログボックスの詳細

[表示倍率]：画像の拡大表示、または縮小表示ができます。

分割方法

[2 ページ横]：画像を横に 2 分割にします。

[2 ページ縦]：画像を縦に 2 分割にします。

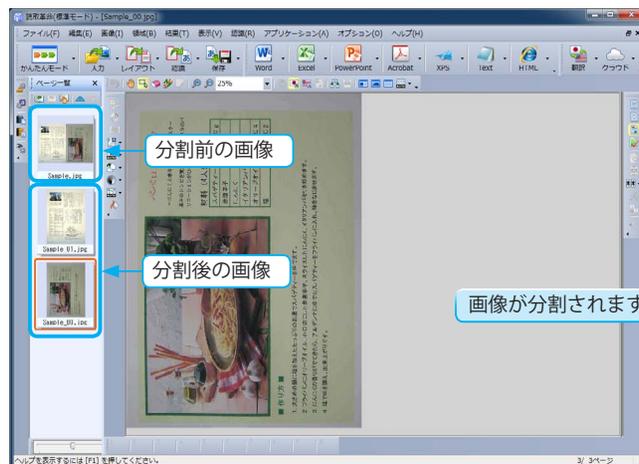
[ページ数指定]：任意のページ数を指定できます。

[横]：横に分割するページ数を指定します。▲▼をクリックするか、テキストボックスに数値を入力します。1 ～ 8 までの値が入力できます。

[縦]：縦に分割するページ数を指定します。▲▼をクリックするか、テキストボックスに数値を入力します。1 ～ 8 までの値が入力できます。

[分割後に元のページを閉じる]：分割後に分割元のページを閉じる場合は、チェックボックスをクリックしてオンにします。

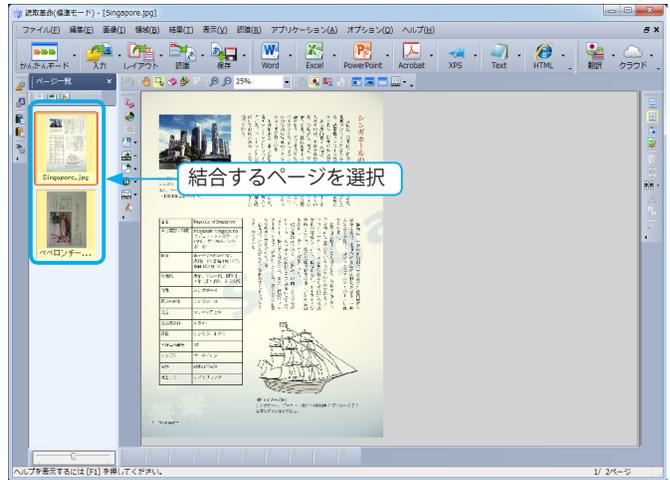
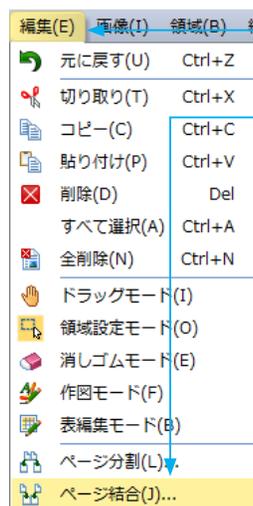
3 実行結果

※分割後の画像ファイル名は、末尾に連続した数値番号が付加され、別名になります。

※ [分割後に元のページを閉じる] チェックボックスがオフの場合、分割前の画像は閉じません。

ページを結合する

2 つのページ (画像) を結合して、新しいページ画像を作成できます。

※結合する 2 つのページ（画像）を選択するときは、同じ解像度の画像を選択してください。

1 結合するページを選択する

2 メニューを選択する

❶ [編集] をクリック

❷ [ページ結合] をクリック

または、標準ツールバーの

[ページ結合] をクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」応用編 P.37 を参照してください。

3 結合方法を指定する

■ページ結合 ダイアログボックスの詳細

結合方法

方向

[横]：画像を横方向に結合します。

[縦]：画像を縦方向に結合します。

順番

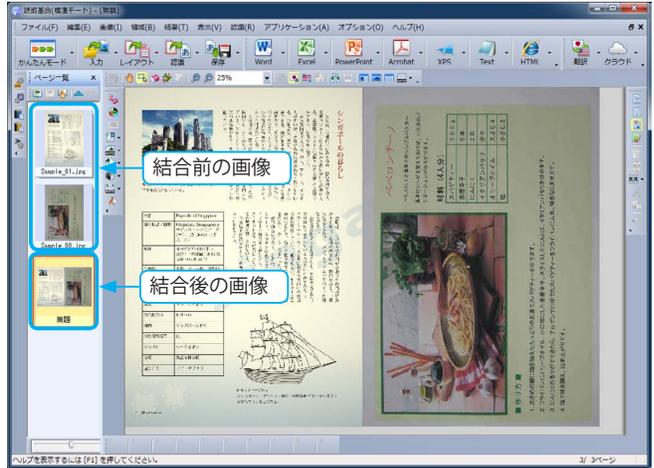
[A → B]：横方向に結合する場合
　左側：画像 A　右側：画像 B
縦方向に結合する場合
　上側：画像 A　下側：画像 B

[B → A]：横方向に結合する場合
　左側：画像 B　右側：画像 A
縦方向に結合する場合
　上側：画像 B　下側：画像 A

[結合後に元のページを閉じる]：結合後に結合元のページを閉じる場合は、チェックボックスをクリックしてオンにします。

※結合後の画像ファイル名は、「無題」で表示されます。

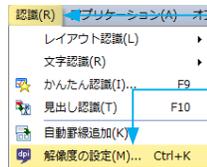
※結合後の画像は、元画像の色数にかかわらず、24bit カラーになります。

4 実行結果

2 つのページ画像が結合されます。

※ [結合後に元のページを閉じる] チェックボックスがオフの場合、結合前の画像は閉じません。

解像度の設定

解像度情報が設定されていない画像ファイルを読み込む場合、画像の解像度を設定します。
Word 形式 (*.doc,*.docx)、Excel 形式 (*.xls,*.xlsx)、PowerPoint 形式 (*.ppt,*.pptx)、RTF 形式、一太郎形式 (*.jtd)、HTML 形式 (*.htm)、XML 形式 (*.xml) などで出力する場合は、解像度を基準にして文字サイズを決定したり、レイアウトを再現したりします。

1 [解像度の設定] を選択する

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」応用編 P.37 を参照してください。

2 解像度を設定する

※解像度有効範囲は 50 ～ 2400dpi です。

■解像度設定の例：A4 サイズ /400dpi の画像の解像度を変更する

(原稿 A4 サイズ /400dpi)

● 600dpi に設定した場合
A5 に近い用紙サイズで出力されます。

● 300dpi に設定した場合
A3 に近い用紙サイズで出力されます。

※解像度の数値と認識後の保存・転送結果の用紙サイズは反比例します。

※解像度が設定されていない画像ファイルをかんたん認識で読み込んだ場合は、400dpi とみなして処理されます。

フォントの設定

認識結果ウィンドウで表示する文字のフォント名やサイズ、文字間、行間、文字色の変更ができます。
カラーリアル表示や領域表示にしたときに、より見やすく設定できます。

1 [フォント設定] を選択する

2 フォントを設定する

※ [フォント名] や [サイズ] の一覧は、お使いのパソコン環境によって異なります。

[フォント名]

フォントを選択・表示します。

[サイズ]

文字サイズを選択・表示します。
希望のサイズがリストにない場合は、テキストボックスに直接入力することで設定できます。

[色]

認識結果ウィンドウで選択された文字列の色を選択・表示します。

[行間]

認識結果ウィンドウで選択された文字列の行間を選択・表示します。

[文字間]

認識結果ウィンドウで選択された文字列の文字間を選択・表示します。

領域表示・カラーリアル表示で設定した場合

- フォント名は全領域に、その他の設定は選択された領域に反映されます。
- 下記のファイル形式に保存・転送するときのフォントは、「環境設定」で設定できます。

(☞「[出力] タブの設定」応用編 P.93)

  - Word(*.doc,*.docx)
  - Excel(*.xls,*.xlsx)
  - PowerPoint(*.ppt,*.pptx)
  - PDF ファイル (*.pdf)
  - 一太郎 (*.jtd)
  - 書式付きファイル (*.rtf)
  - HTML(*.htm)
  - XML(*.xml)

各表示方法でのフォント設定について

フォント設定は、各表示方法によって指定可能なオプションが異なります。

■テキスト表示

フォント名・文字サイズ・文字色を変更して表示できます。保存・転送した場合は、設定はすべて無効となります。

■領域表示

フォント名・文字サイズ・文字色・行間・文字間を変更できます。

■カラーリアル表示

フォント名・文字サイズ・文字色・行間・文字間を変更できます。

■ハイパーチェッカー

フォント名・文字サイズを変更して表示できます。保存・転送した場合は、設定はすべて無効となります。

読取順序の変更

各領域枠には、文字認識をする順序を決める読取順序番号が付けられています。
各領域枠の読取順序番号を変更します。

1 [読取順序変更] を選択する

※「属性変更」からも選択した領域枠の読取順序変更ができます。
(☞「領域枠の属性変更」基本編 P.87)

❶ [領域] をクリック

❷ [読取順序変更] をクリック

または、標準ツールバーの ボタンをクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」応用編 P.37 を参照してください。

2 順序変更を行う

[読取順序変更] を中止する場合

2 とおりの手順があります。

- 変更作業中に [キャンセル] をクリック。
- [終了] をクリックしたあと、[元に戻す] の操作を行う。
(☞「元に戻す」基本編 P.119)

❶読取順序を 1 番にする領域枠の内側をクリック

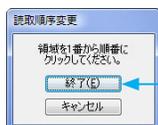
選択された状態となり、読取順序が“1”と表示されます。

❷読取順序を 2 番にする領域枠の内側をクリック

選択された状態となり、読取順序が“2”と表示されます。

❸以降、同様の操作で読取順序を変更

3 終了する

※読取順序の変更が終了すると、読取順序番号の表示が消えます。読取順序番号を常に表示する場合は、「環境設定」で設定します。
(☞「[一般] タブの設定」応用編 P.85)

[終了] をクリック

転送先アプリの設定

「読取革命」には、認識結果をほかのアプリケーションに転送する転送先アプリツールバーが表示されています。転送先アプリツールバーに表示されていないアプリケーションを追加できます。
また、対応するアプリケーションのインストールを行うと、次回の「読取革命」起動時に自動的に登録され、転送先アプリツールバーに表示します。
対応アプリケーションをアンインストールした場合は、転送先アプリツールバーから自動的に削除されます。

転送先アプリツールバーに自動表示されるアプリケーション

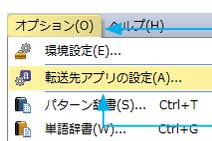
「読取革命」起動時に下記のアプリケーションがインストールされていると自動的に転送先アプリツールバーに登録されます。
また、下記のアプリケーションがアンインストールされた場合も自動的に転送先アプリツールバーから削除されます。

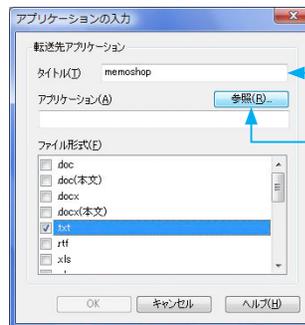
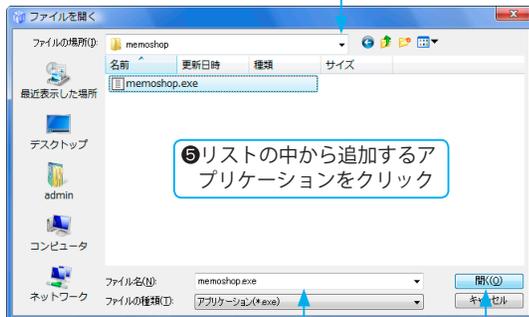
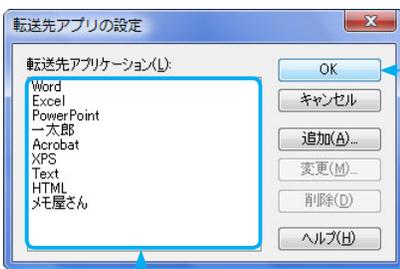
- Microsoft Word 2010/2007/2003
- Microsoft Excel 2010/2007/2003
- Microsoft PowerPoint 2010/2007/2003
- 一太郎 2012/2011/2010
- Adobe Reader 10/9/8、Adobe Acrobat 10/9/8
- XPS Viewer Essentials Pack 1.0
- Internet Explorer 7.0 以上
- Firefox 3.0 以上 (XML は非対応)

※自動で登録された転送先アプリケーションは削除できません。

※上記以外のアプリケーションでも、ファイルを読み込むことができるアプリケーションであれば、追加できます。

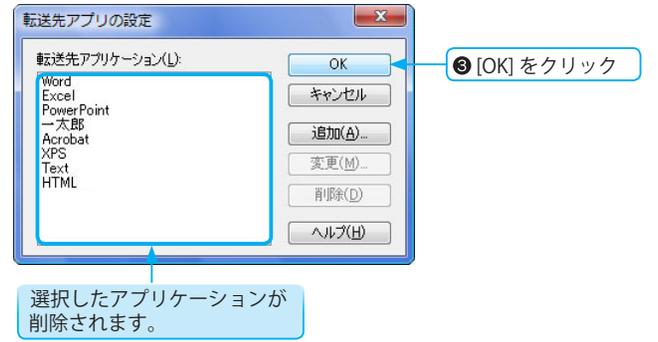
※転送先アプリツールバーに設定できるアプリケーションは、20 個までです。

1 [転送先アプリの設定] を選択する

2 各設定をする

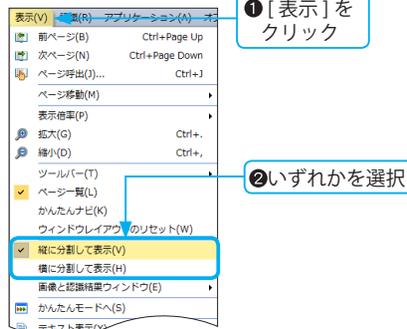
転送先アプリケーションの追加

❹▼をクリックし、設定するアプリケーションのインストール先を選択
ファイルを開く
ファイルの場所(I):
memoshop
名前
更新日時
種類
サイズ
memoshop.exe
最近表示した場所
デスクトップ
admin
コンピュータ
ネットワーク
❺リストの中から追加するアプリケーションをクリック
ファイル名(N):
memoshop.exe
ファイルの種類(T):
アプリケーション(*.exe)
開く(O)
キャンセル
❻表示されているアプリケーションを確認
❼[開く] をクリック
アプリケーションの入力
転送先アプリケーション
タイトル(T)
メモ屋さん
アプリケーション(A)
参照(R)...
C:¥Program Files¥memoshop¥memoshop.exe
追加するアプリケーションの実行ファイル名が表示されます。
ファイル形式(F)
.doc
.doc(本文)
.docx
.docx(本文)
.txt
.rtf
.xls
❽リストの中から関連するファイルの形式を拡張子ごとにクリックしてオン
OK
キャンセル
ヘルプ(H)
❾ [OK] をクリック
転送先アプリの設定
転送先アプリケーション(L):
Word
Excel
PowerPoint
一太郎
Acrobat
XPS
Text
HTML
メモ屋さん
OK
キャンセル
追加(A)...
変更(M)...
削除(D)
ヘルプ(H)
❿ [OK] をクリック
リストに追加したタイトルが表示されます。

転送先アプリケーションの変更

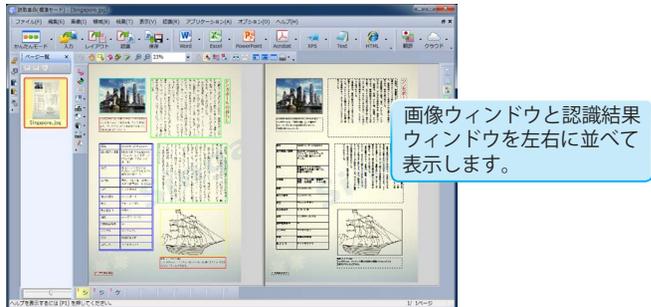
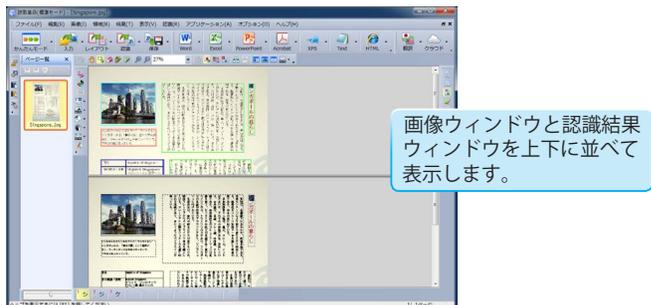
※自動登録されたアプリケーションを選択した場合は、[参照] は選択できません。

転送先アプリケーションの削除

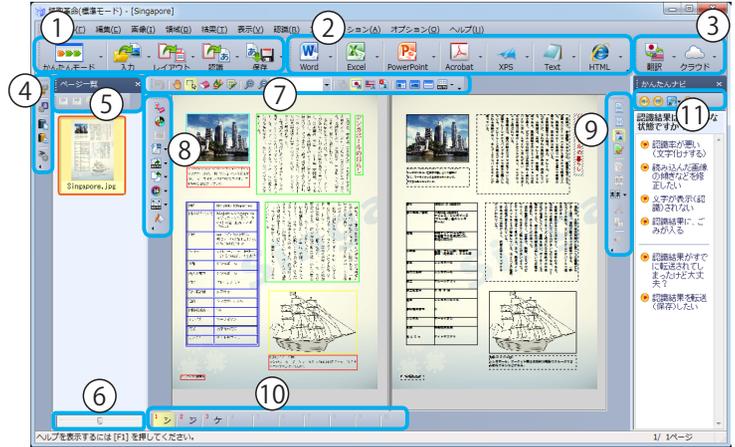
※自動登録されたアプリケーションは、削除できません。

画像・認識結果ウィンドウを上下に並べるには

画像ウィンドウと認識結果ウィンドウを左右に並べるか、上下に並べるかを選択できます。
作業しやすい形態を選択してください。
※ハイパーチェッカーでは選択できません。

1 表示形態を選択する

2 実行結果

■ [縦に分割して表示] を選択した場合

■ [横に分割して表示] を選択した場合

ツールバーのカスタマイズ

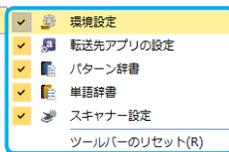
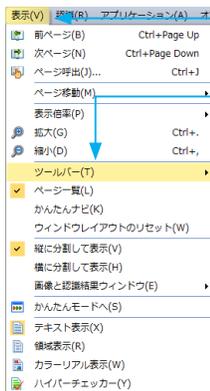
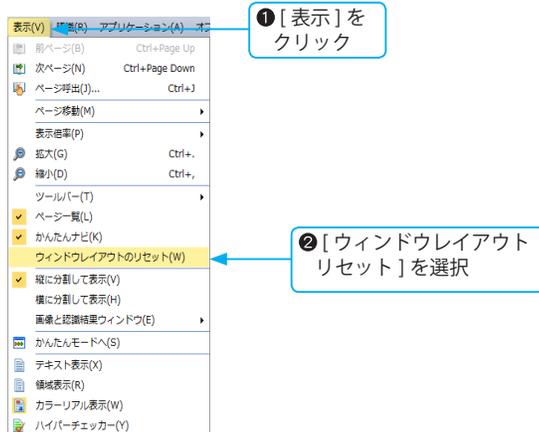
「読取革命」では、ツールバーをお好みでカスタマイズできます。
表示するツールバーや、各ツールバーに表示されるボタンの表示 / 非表示、アイコンの大きさを選択できます。

各ツールバーの名称

①基本操作
②転送先アプリ
③アプリケーション
④設定
⑤ページ一覧
⑥ページ一覧スライダー
⑦標準
⑧画像編集
⑨認識結果編集
⑩候補文字修正
⑪かんたんナビ

ツールバーの表示 / 非表示

ボタンの表示 / 非表示

1 ツールバーを選択する

2 各種設定をする

アイコンの大きさを変更する

ウィンドウレイアウトのリセット

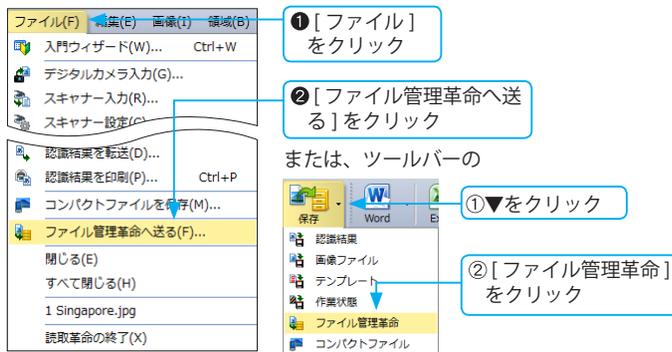
[ウィンドウレイアウトリセット] を選択すると、下記ウィンドウおよびツールバーを初期設定の状態に配置することができます。

- メニューバー
- 設定ツールバー
- かんたんナビツールバー
- かんたんナビウィンドウ
- 標準ツールバー
- 認識結果編集ツールバー
- アプリケーションツールバー
- 基本操作ツールバー
- 転送先アプリツールバー
- 候補文字修正ツールバー
- ページ一覧ツールバー
- ページ一覧スライダーツールバー
- ページ一覧ウィンドウ

ファイル管理革命へ送る

「読取革命」に読み込んだ画像を「ファイル管理革命」で管理しているフォルダーに簡単に送ることができます。
[ファイル管理革命へ送る] を使用するには、「ファイル管理革命」がインストールされている必要があります。

※「ファイル管理革命」は Windows 8 / 7 または Windows Vista に対応しておりません。

1 メニューを選択する

2 送り先を指定する

送り先に保存できるファイル形式

- TIFF ファイル (*.tif)(注)
- TIFF[非圧縮] ファイル (*.tif)
- BMP ファイル (*.bmp)
- JPEG ファイル (*.jpg,*.jpeg)

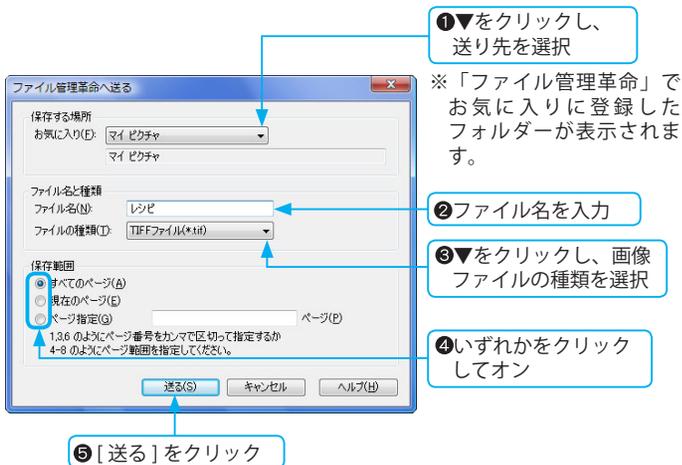
ファイル形式についての説明は、「用語解説」基本編 P.176 に記載しています。

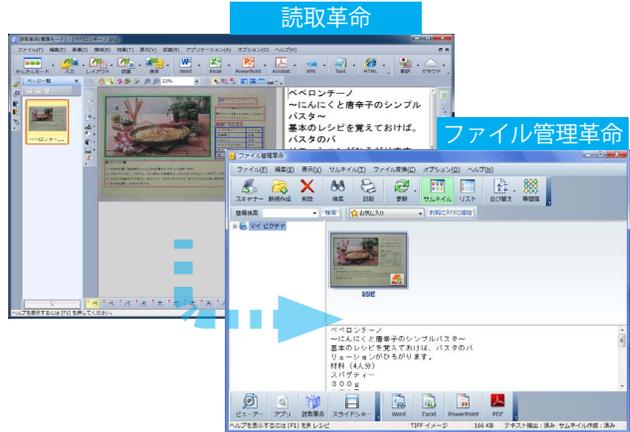
(注) カラー画像の場合は、TIFF[JPEG 圧縮] で保存されます。白黒画像 (2 値画像) の場合は、TIFF[G4 圧縮] で保存されます。

ファイル形式が異なる画像を、1 つのファイルで送り先に保存する場合

TIFF を選択してください。

現在表示されているページの画像だけを送り先に保存する場合

BMP/JPEG 形式で保存します。
この形式で複数ページの保存はできません。

※認識結果がない画像のテキスト抽出は、行われません。

3 実行結果

設定したファイル形式で画像が保存され、自動的に「ファイル管理革命」が起動し、画像が読み込まれます。
読み込まれた画像は、サムネイル表示され、認識結果がテキスト表示エリアに表示されます。

■ファイル管理革命へ送る ダイアログボックスの詳細

保存する場所

[お気に入り]:「ファイル管理革命」で、お気に入りに登録したフォルダーの一覧を表示します。

ファイル名と種類

[ファイル名]：ファイル名を入力します。
[ファイルの種類]：保存するファイル形式を選択します。

保存範囲

[すべてのページ]：
ページ一覧ウィンドウに表示されたすべての画像を「保存する場所」で指定したフォルダーに保存します。

[現在のページ]：
画像ウィンドウに表示された画像を「保存する場所」で指定したフォルダーに保存します。

[ページ指定]：
指定されたページに該当する画像を「保存する場所」で指定したフォルダーに保存します。

画像編集

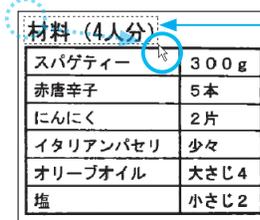
消去する

不要な画像を消去しておくことで、文字認識の精度が向上します。
画像の消去には、範囲指定した領域の内側を消去する「消去」と、指定範囲の外側を消去する「トリミング」、また、ドラッグされた部分を消去する「消しゴム」が用意されています。

消去 (領域の内側を消去)

領域設定モード

範囲指定した領域の内側を消去します。

1 消去する部分を範囲指定する

材料（4人分）

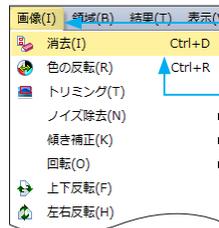
スパゲティー	300g
赤唐辛子	5本
にんにく	2片
イタリアンパセリ	少々
オリーブオイル	大さじ4
塩	小さじ2

領域を範囲指定

※ (☞「領域の範囲指定」基本編 P.82)

2 メニューを選択する

3 実行結果

スパゲティー	300g
赤唐辛子	5本
にんにく	2片
イタリアンパセリ	少々
オリーブオイル	大さじ4
塩	小さじ2

範囲指定した画像が消去されます。

※操作を取り消すには
(☞「元に戻す」基本編 P.119)

※範囲指定を行わずに消去を行った場合は、画像全体が消去されます。

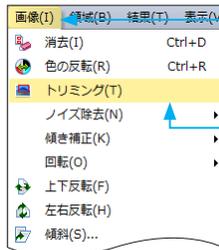
トリミング (領域の外側を消去)

領域設定モード

範囲指定した領域だけを残して、それ以外を消去します。ある一部分だけが必要で、ほかをすべて消去する場合に便利です。

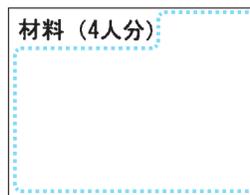
1 残す部分を範囲指定する

必要な領域を範囲指定

※ (☞「領域の範囲指定」基本編 P.82)

2 メニューを選択する

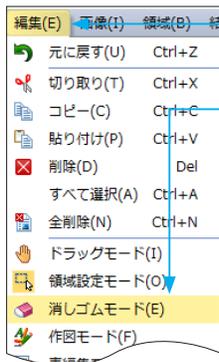
3 実行結果

※操作を取り消すには
(☞「元に戻す」基本編 P.119)

画像編集

消しゴム

消しゴムモード

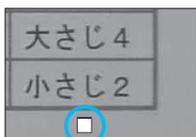
消しゴムで文字を消すように、ドラッグした箇所の画像を消すことができます。消しゴムの大きさには、大・中・小があります。黒点や汚れなど画像の細かい修正に便利です。

1 メニューを選択する

2 消しゴムの大きさを選択する

3 消しゴムで消す

※[消しゴムモード]での作業終了後も[消しゴムモード]のままにしておくと、必要な画像の一部まで誤って消してしまうおそれがあります。作業が終わったら、その都度ほかのモードに変更することをお勧めします。

※操作を取り消すには
(☞「元に戻す」基本編 P.119)

■元に戻す
直前に行った操作にだけ有効です。マウスボタンを一度放して、再びボタンを押すと、別の操作が行われたとみなされます。
例：[消しゴム]で画像☆を消し、左ボタンを一度放してから[消しゴム]で画像★を消して、[元に戻す]を実行した場合
画像☆→元の画像には戻りません。
画像★→[元に戻す]で元の画像に戻ります。

上下反転

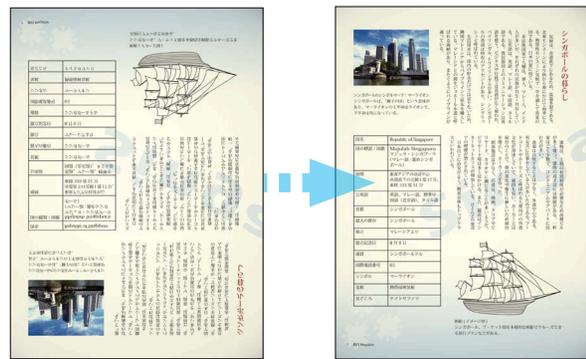
画像ウィンドウに表示された画像の向きを上下反転します。
認識は画面に表示されている文字方向に対して行いますので、画像ウィンドウに表示された画像が反転している場合は文字認識できません。画像の向きが正常となるように反転させてください。反転には「上下反転」と、「左右反転」の 2 とおりが用意されています。

※画像の上下反転は、画像全体に対して行われます。部分的な反転はできません。

※操作を取り消すには
(☞「元に戻す」基本編 P.119)

1 [上下反転] を選択する

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」応用編 P.37 を参照してください。

2 実行結果

画像が上下反転します。

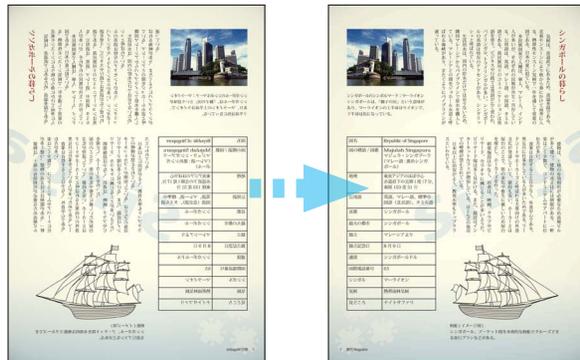
左右反転

画像ウィンドウに表示された画像の向きを左右反転します。
認識は画面に表示されている文字方向に対して行いますので、画像ウィンドウに表示された画像が反転している場合は文字認識できません。画像の向きが正常となるように反転させてください。反転には「上下反転」と、「左右反転」の 2 とおりが用意されています。

1 [左右反転] を選択する

2 実行結果

※画像の左右反転は、画像全体に対して行われます。部分的な反転はできません。

※操作を取り消すには
(☞「元に戻す」基本編 P.119)

画像が左右反転します。

傾斜

デジタルカメラなどで撮影された傾斜した画像を修正できます。

1 [傾斜] を選択する

または、画像編集ツールバーの ボタンをクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」応用編 P.37 を参照してください。

2 傾斜角を指定する

※画像の傾斜は、画像全体に対して行われます。部分的な傾斜はできません。

■ [水平方向の傾斜]
チェックボックスをクリックして、オンにすると、水平方向に傾斜します。

❶スライダーを動かす

または、[傾斜角] テキストボックスに直接入力できます。
(-45.0 ～ 45.0 度までの数値)

❷ [OK] をクリック

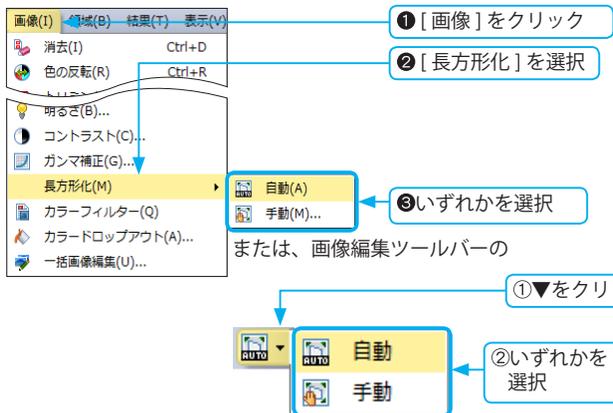
3 実行結果

※操作を取り消すには
(☞「元に戻す」基本編 P.119)

■水平方向に傾斜した場合

傾斜した画像が補正されます。

長方形化

画像のひずみを補正できます。
デジタルカメラで斜めから撮影した画像のひずみを補正するのに便利です。

※操作を取り消すには
（☞「元に戻す」基本編 P.119）

※原稿の四隅が見切れていると、自動で長方形化の処理ができません。

※原稿と背景色（机などの色）が同系色になっているといると、自動で長方形化の処理ができません。

1 メニューを選択する

自動長方形化

2 実行結果

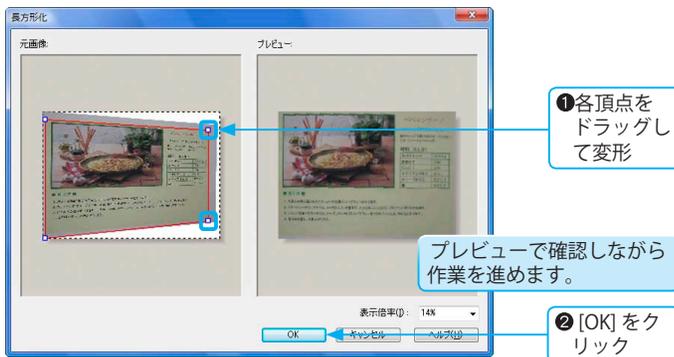
ひずみが自動で補正されます。

手動長方形化

傾き角度調整スライダーを動かして、画像の傾きを補正します。

※指定した範囲内を対象として [長方形化] を行う場合は、手順 1 の前に範囲指定します。

2 矩形を設定する

■ [表示倍率]
画像の拡大表示、または縮小表示ができます。

3 実行結果

頂点を移動させることで元画像のひずみが補正されます。

※操作を取り消すには
(☞「元に戻す」基本編 P.119)

リサイズ

画像のサイズを変更できます。
認識結果の保存・転送を行う場合、用紙サイズを任意の大きさにする場合に便利です。

1 [リサイズ] を選択する

2 高さと幅を指定する

■ [縦横比を固定]
チェックボックスをクリックして、オンにすると、縦横比を変えずにリサイズできます。

※操作を取り消すには
(☞「元に戻す」基本編 P.119)

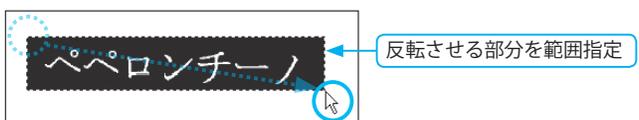
※実行結果を確認するには、表示倍率を指定してリサイズを行ってください。

色の反転

画像全体、または範囲指定された部分の色を反転させせます。

領域設定モード

1 色の反転をする部分を範囲指定する

反転させる部分を範囲指定

※範囲指定を行わずに実行した場合は、画像全体に対して実行されます。

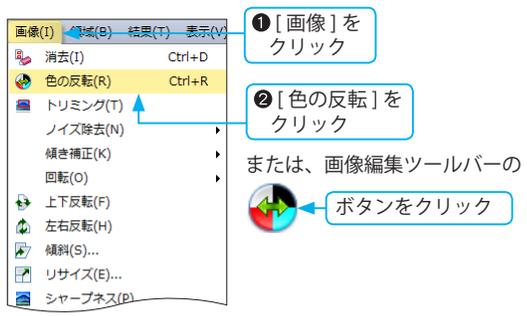
※ (☞「領域の範囲指定」基本編 P.82)

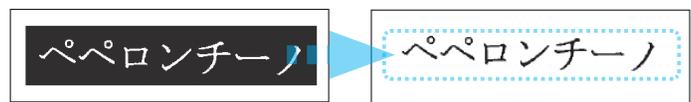
2 メニューを選択する

❶ [画像] をクリック

❷ [色の反転] をクリック

または、画像編集ツールバーの

ボタンをクリック

3 実行結果

■見出しを反転する場合
白黒反転している黒の部分がかすれていたり、細かい線のようになっていたりしている場合は、色の反転を実行しても、正しく文字認識できないことがあります。色の反転を実行せずに [見出し認識] を行ってみてください。
(☞「見出し認識」応用編 P.15)

範囲指定した部分が反転表示されます。

※操作を取り消すには
(☞「元に戻す」基本編 P.119)

減色

カラー画像やグレースケール画像の色数を減らします。
画像ファイルサイズを小さくするのに便利です。

※表示されている画像の色数以上は、指定できません。

※画像の減色は、画像全体に対して行われます。部分的な減色はできません。

※操作を取り消すには
(☞「元に戻す」基本編 P.119)

1 減色する色数を選択する

カラーフィルター

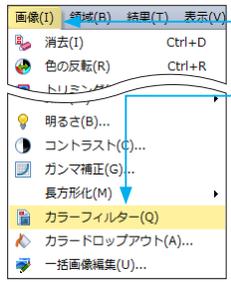
カラー画像やグレースケール画像に対して、文字認識に最適な画像修正を「読取革命」が自動的に判断します。
フィルターは下記の 5 種類から選択されます。

・シャープネス　・エッジ強調　・明るさ　・コントラスト　・ガンマ補正

1 [カラーフィルター] を選択する

※カラーフィルターは、画像全体に対して行われます。部分的なカラーフィルターはできません。

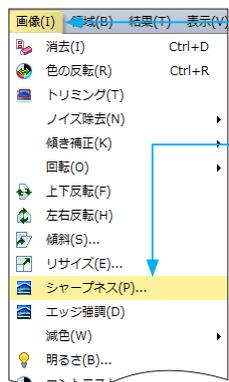
※画像によっては元画像が最適と判断され、画像修正が行われない場合があります。

※操作を取り消すには
(☞「元に戻す」基本編 P.119)

または、画像編集ツールバーの

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」応用編 P.37 を参照してください。

シャープネス

カラー画像やグレースケール画像に対して輪郭を補正します。
シャープさに欠けた画像の輪郭を補正し、コントラストを上げることで、くっきりさせることができます。

1 [シャープネス] を選択する

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」応用編 P.37 を参照してください。

2 パーセントを指定する

プレビュー画面の表示について

実際の画像を縮小して表示しているため、画像イメージと実行結果が多少異なる場合があります。

※画像のシャープネスは、画像全体に対して行われます。部分的なシャープネスはできません。

※操作を取り消すには
(☞「元に戻す」基本編 P.119)

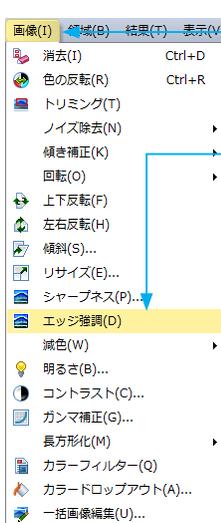
エッジ強調

カラー画像やグレースケール画像のエッジを強調させせます。
文字データの輪郭をはっきりさせ、認識精度を向上させることができます。

■ [エッジ強調]
あらかじめ用意されたフィルターをかけることで、エッジや線要素などを抽出します。

※画像のエッジ強調は、画像全体に対して行われます。部分的なエッジ強調はできません。

※認識結果はエッジ強調を行うと削除されます。

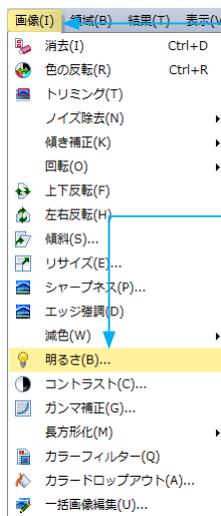
※操作を取り消すには
(☞「元に戻す」基本編 P.119)

1 [エッジ強調] を選択する

または、画像編集ツールバーの

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」応用編 P.37 を参照してください。

明るさ

カラー画像やグレースケール画像の明るさを変更します。

1 [明るさ] を選択する

または、画像編集ツールバーの

ボタンをクリック

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」応用編 P.37 を参照してください。

2 パーセントを指定する

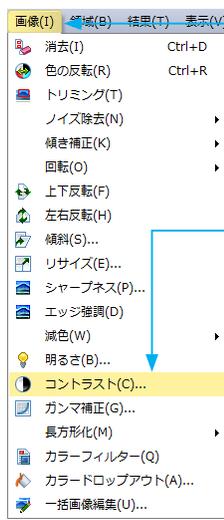
※画像の明るさは、画像全体に対して行われます。部分的な明るさ調整はできません。

※操作を取り消すには
(☞「元に戻す」基本編 P.119)

または、[パーセント] テキストボックスに直接入力できます。
(-100 ～ 100 までの数値)

コントラスト

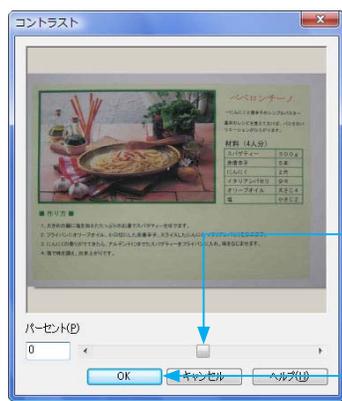
カラー画像やグレースケール画像のコントラストを変更します。
背景と文字のコントラストを強調するときに便利です。

1 [コントラスト] を選択する

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」応用編 P.37 を参照してください。

2 パーセントを指定する

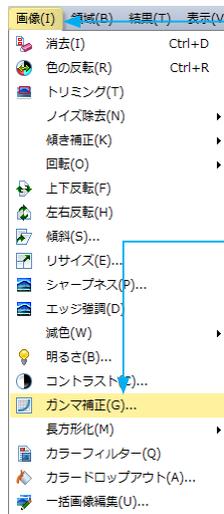
または、[パーセント] テキストボックスに直接入力できます。
(-100 ～ 100 までの数値)

※画像のコントラストは、画像全体に対して行われます。部分的なコントラスト変更はできません。

※操作を取り消すには
(☞「元に戻す」基本編 P.119)

ガンマ補正

カラー画像やグレースケール画像のガンマ値を補正すると、縞模様のノイズを除去できます。

■ [ガンマ補正]
輝度値を描画するときに使用するガンマ定数を変更して、ビットマップ内の色の明度を調整します。

1 [ガンマ補正] を選択する

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」応用編 P.37 を参照してください。

2 ガンマ値を指定する

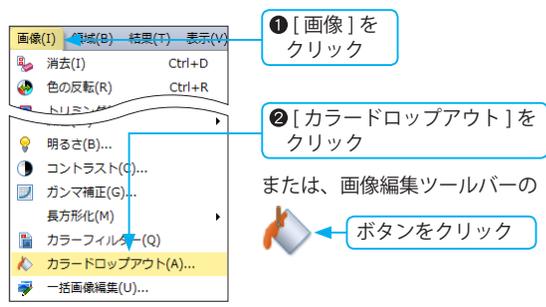
※画像のガンマ補正は、画像全体に対して行われます。部分的なガンマ補正はできません。

※操作を取り消すには
(☞「元に戻す」基本編 P.119)

カラードロップアウト

カラー画像やグレースケール画像に使用されている色を、指定された色に置き換えます。適用範囲は、画像全体、または範囲指定した領域です。

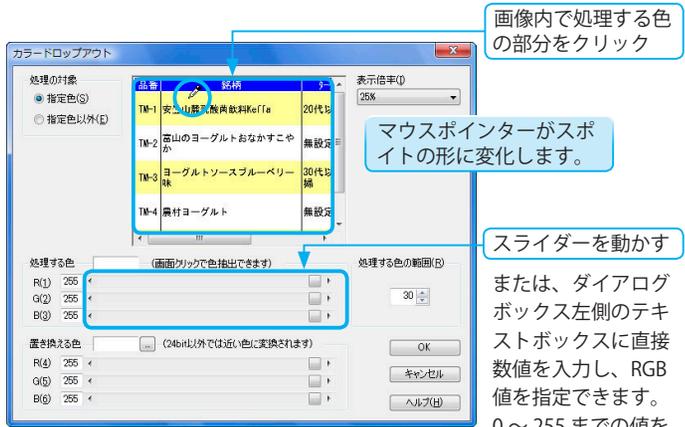
※指定した範囲内を対象として [カラードロップアウト] を行う場合は、手順 1 の前に範囲指定します。

1 [カラードロップアウト] を選択する

2 処理する色を指定する

処理する色の指定には、2 とおりの方法があります。

■ RGB
光の 3 原色をコンピューターで表現する表記法の 1 つ。
R(赤)、G(緑)、B(青) の組み合わせですべての色が表現できる。

※グレースケール画像の場合、各 RGB 値はすべて同じ値になります。

または、ダイアログボックス左側のテキストボックスに直接数値を入力し、RGB 値を指定できます。0 ～ 255 までの値を入力してください。

R: 赤色を編集します
G: 緑色を編集します
B: 青色を編集します

※スキャナーやデジタルカメラなどから取り込まれた画像は、色ムラが発生する場合があります。また、画像の保存ファイル形式によっても色ムラが発生します。肉眼では同一色に見えても RGB 値が異なるケースでは、設定した色が反映されない場合があります。

※操作を取り消すには
(☞「元に戻す」基本編 P.119)

3 置き換える色を指定して実行する

プレビュー画像で確認しながら設定を行います。

■カラードロップアウト ダイアログボックスの詳細

処理の対象

[指定色]:オンの場合、指定した [処理する色] を対象に、[置き換える色] に変更します。

[指定色以外]：オンの場合、指定した [処理する色] 以外を対象に、[置き換える色] に変更します。

プレビュー：対象となる画像領域を表示します。

処理する色

指定色：指定した [処理する色] を表示します。

[R]：赤色の割合を設定します。スライダーを動かすか、左側テキストボックスに数値を入力します。0 ～ 255 までの値が入力できます。

[G]：緑色の割合を設定します。スライダーを動かすか、左側テキストボックスに数値を入力します。0 ～ 255 までの値が入力できます。

[B]：青色の割合を設定します。スライダーを動かすか、左側テキストボックスに数値を入力します。0 ～ 255 までの値が入力できます。

置き換える色

対象となる画像が 16bit、または 8bit の場合、設定した色に近い色で置き換える場合があります。

指定色：現在指定されている置き換える色を表示します。

[...]：「色の設定」ダイアログボックスが表示されます。選択した色は、指定色に表示されます。
グレースケール画像の場合は、選択できません。

[R]：赤色の割合を設定します。スライダーを動かすか、左側テキストボックスに数値を入力します。0 ～ 255 までの値が入力できます。

[G]：緑色の割合を設定します。スライダーを動かすか、左側テキストボックスに数値を入力します。0 ～ 255 までの値が入力できます。

[B]：青色の割合を設定します。スライダーを動かすか、左側テキストボックスに数値を入力します。0 ～ 255 までの値が入力できます。

[表示倍率]：プレビュー画像の表示倍率を変更します。

[処理する色の範囲]：置き換える色の範囲を設定します。▲▼をクリックするか、テキストボックスに 0 ～ 55 までの整数を半角で入力します。

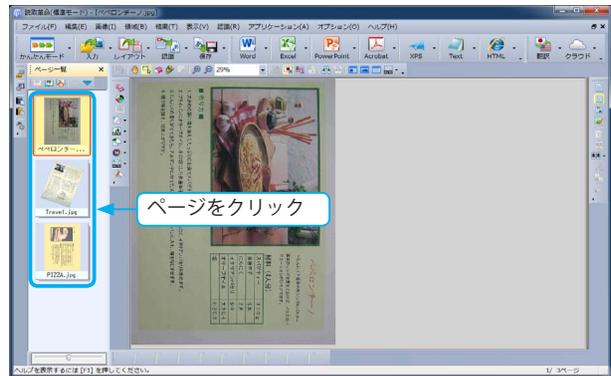
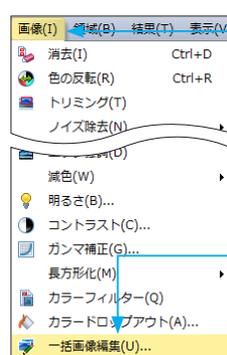
一括画像編集

ページ一覧ウィンドウに表示されているすべてのページ、または選択したページの画像を一括で回転、自動傾き補正ができます。複数ページを一度に編集する場合に便利です。

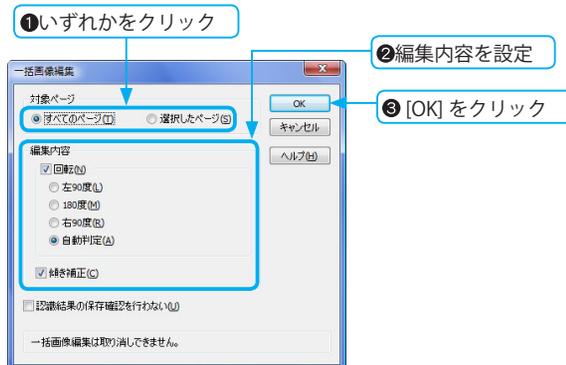
複数ページを指定する場合

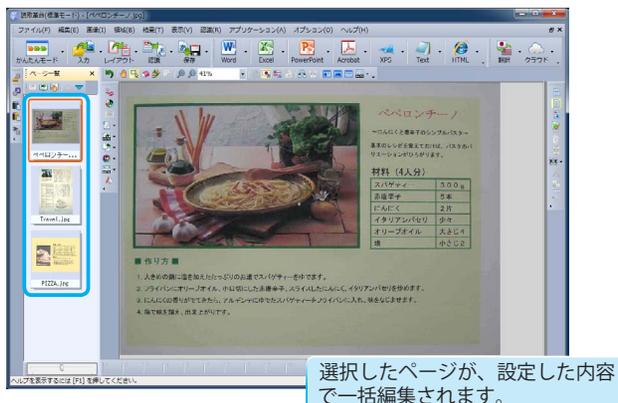
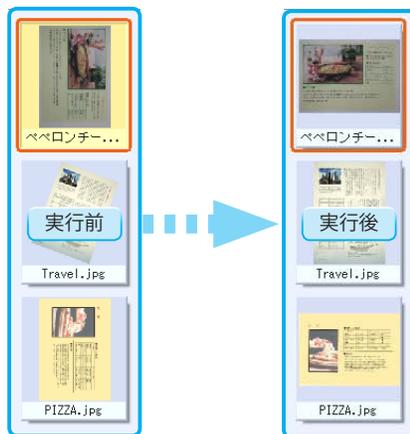
- **離れたページを指定する**
  [Ctrl] キーを押したまま、ページを 1 つずつクリックして選択します。
- **連続したページを指定する**
  選択するページが連続して並んでいる場合、選択する範囲の先頭と末尾のページを [Shift] キーを押したままクリックすると、間に挟まれたページがすべて選択できます。

1 ページを選択する

一括画像編集を行うページを選択します。すべてのページを選択する場合は、ページ一覧ウィンドウで、いずれかの画像をクリックします。

2 メニューを選択する

※このボタンをツールバーに表示させるには「ツールバーのカスタマイズ」応用編 P.37 を参照してください。

3 編集内容を設定する

※ページ一覧ウィンドウでページを選択していない場合は、すべてのページに一括画像編集が行われます。

4 実行結果

※一括画像編集後に「元に戻す」は実行できません。

回転の自動判定と傾き補正のチェックボックスをクリックしてオンにし、実行した場合

画像編集

■一括画像編集 ダイアログボックスの詳細

対象ページ

[すべてのページ]：ページ一覧ウィンドウに表示されているすべての画像を編集します。

[選択したページ]：ページ一覧ウィンドウで選択した画像を編集します。

編集内容

[回転]：回転を行う場合は、チェックボックスをクリックしてオンにし、下記の項目を選択します。
- 左 90 度
- 180 度
- 右 90 度
- 自動判定

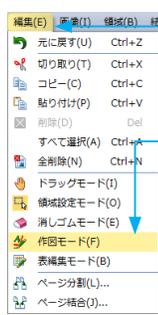
[傾き補正]：自動傾き補正を行う場合は、チェックボックスをクリックしてオンにします。

[認識結果の保存確認を行わない]：認識結果の保存を確認するメッセージダイアログボックスを表示しない場合は、チェックボックスをクリックしてオンにします。

作図

「読取革命」に読み込まれた画像は、直線・長方形・文字の描画を行うことができます。
かすれた罫線の修正や、罫線のない表領域に罫線を追加する場合に便利です。
※色の設定は表示されている画像の色数によって反映される色が異なります。

作図モード

1 [作図モード] を選択する

※ [作図モード] を終了する場合は、ほかのモードを選択してください。
(☞「操作モードの切り替え」基本編 P.97)

2 描画種別と詳細を設定する

直線を描画する場合

※画像の表示倍率が小さいと、正しく描画されていても線が表示されなかったり、破線で表示されたりする場合があります。表示倍率を変更すると、正しく表示できます。

※色の設定は表示されている画像の色数によって反映される色が異なります。

長方形を描画する場合

文字を描画する場合

■フォント設定 ダイアログボックスの詳細

[フォント名]

フォントを選択・表示します。

[サイズ]

文字サイズを選択・表示します。
希望のサイズがリストにない場合は、テキストボックスに直接入力して設定できます。

[色]

文字列の色を選択・表示します。色の設定は表示されている画像の色数によって反映される色が異なります。

[行間]

設定できません。

[文字間]

設定できません。

文字描画を行う場合の画像表示倍率

文字描画を行う場合、画像ウィンドウの表示倍率を 100% にして操作を行ってください。
表示倍率が 100% の画像に対して指定した文字サイズで文字描画を行います。
画像ウィンドウの表示倍率が 100% でない状態で文字描画を行うと、入力した文字配置と、実際に描画した文字の位置や大きさがずれる場合があります。

※操作を取り消すには
（☞「元に戻す」基本編 P.119）

3 描画する

各描画の詳細設定を行ったあと、画像ウィンドウ内で描画を行います。対象となる画像が 24bit 以外の場合、設定した色に近い色に変換されます。

直線を描画する場合

所要時間（分）	賃料（円）
徒歩 10	33,000
徒歩 8	35,000

❶マウスの左ボタンを押す

❷マウスの左ボタンを押したまま動かし、線の終点でボタンを放す

所要時間（分）	賃料（円）
徒歩 10	33,000
徒歩 8	35,000

直線が描画されます。

※ [Shift] キーを押したまま画像ウィンドウでドラッグすると垂直、水平線が描画できます。

※画像の表示倍率が小さいと、正しく描画されていても線が表示されなかったり、破線で表示されたりする場合があります。表示倍率を変更すると、正しく表示できます。

長方形を描画する場合

所要時間（分）	賃料（円）
徒歩 10	33,000
徒歩 8	35,000

❶マウスの左ボタンを押す

❷マウスの左ボタンを押したまま動かし、任意の箇所でボタンを放す

所要時間（分）	賃料（円）
徒歩 10	33,000
徒歩 8	35,000

長方形が描画されます。

※塗り潰しの色を設定した場合、長方形内は指定した色で塗り潰されます。

文字を描画する場合

所要時間（分）	賃料（円）
徒歩 10	33,000
徒歩 8	35,000

❶マウスの左ボタンを押す

❷マウスの左ボタンを押したまま動かし、任意の箇所でボタンを放す

※表示された文字描画領域を取り消す場合は、キーボードの [Esc] キーを押します。

所要時間（分）	賃料（円）
徒歩 10 車2分	33,000
徒歩 8	35,000

文字入力の領域が表示されます。

❸文字列を入力

所要時間（分）	賃料（円）
徒歩 10 車2分	33,000
徒歩 8	35,000

❹文字描画領域以外の部分をクリックし、文字描画を確定

文字描画領域のリサイズ

領域枠の線上にマウスポインターを移動させ、マウスポインターが左右矢印の形に変形した状態でドラッグすると、文字描画の領域枠を拡大できます。
※❷の手順で設定した領域枠のサイズよりも小さくできません。

文字描画を行う場合の画像表示倍率

文字描画を行う場合、画像ウィンドウの表示倍率は 100% で操作を行ってください。
文字描画は表示倍率が 100% の画像に対して指定した文字サイズで文字描画を行います。
画像ウィンドウの表示倍率が 100% でない状態で文字描画を行うと、入力した文字配置と、実際に描画した文字の位置や大きさがずれる場合があります。

ユーザー辞書

パターン辞書

パターン辞書は、文字画像と対応文字を関連づける辞書です。登録は、文字画像から登録する方法と認識結果から登録する方法があります。パターン辞書は、ファイル名を変えて複数登録・追加できます。
画像文書の書体に応じたパターン辞書を用いることで認識率を向上させることができます。

※ 1 つのパターン辞書ファイルに登録できるパターン数は 10,000 語までです。

登録しても正しく認識できない文字

(例)

・類似した文字　　0(ゼロ) と O(オー)

・大きさが異なる文字　　ア　と　ァ

学習効果の現れにくい文字

句読点などの小さく単純な文字は、画像の劣化やノイズの影響を受けやすいので、登録した画像とほかの同じ文字の画像とでは、見た目が異なる場合があります。そのため、既に登録済みであっても、別の文字として認識することがあります。

※パターン辞書は、英語認識モード・手書き領域の認識には使用されません。

リストの表示順序を変更するには

次のいずれか 1 つのラジオボタンを選択します。

[登録順]　：登録した順序で表示

[コード順]：登録した文字コード数値の順序で表示

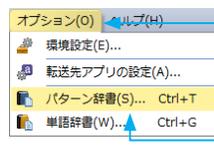
文字画像から登録

1 登録する文字画像を範囲指定する

領域設定モード

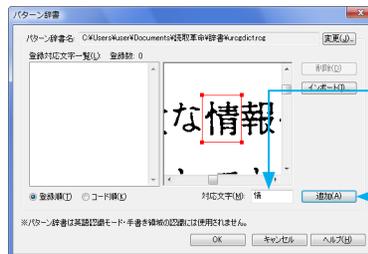
※ (☞「領域の範囲指定」基本編 P.82)

2 [パターン辞書] を選択する

オプション(O)　ヘルプ(H)
環境設定(E)...
転送先アプリの設定(A)...
パターン辞書(S)...　Ctrl+T
単語辞書(W)...　Ctrl+G

❶ [オプション] をクリック

❷ [パターン辞書] をクリック

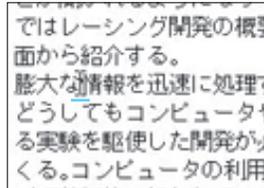
または、設定ツールバーの　ボタンをクリック

3 登録する

※ [対応文字] に入力できる文字数は、1 文字です。

4 終了する

認識結果から登録

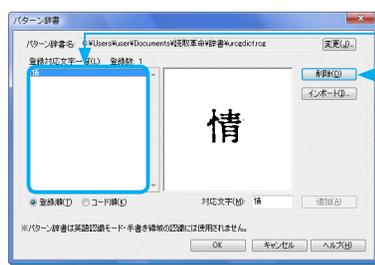
1 文字を指定する

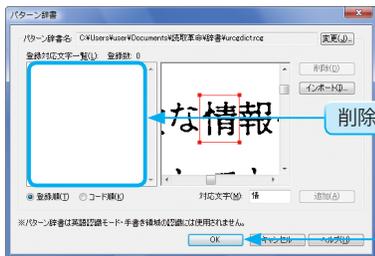
ではレーシング開発の概要
面から紹介する。
膨大な情報を迅速に処理す
どうしてもコンピュータや
る実験を駆使した開発が
くる。コンピュータの利用

❶認識結果ウィンドウで、登録する文字の前に カーソルをおく

❷前ページの [文字画像から登録] の手順 2 ～ 4 を行う

削除する

1 [パターン辞書] を選択する

2 削除する

※続けて削除を行う場合、[OK] をクリックする前に、手順 2 を繰り返します。

3 終了する

変更する

1 [パターン辞書] を選択する

2 パターン辞書を変更する

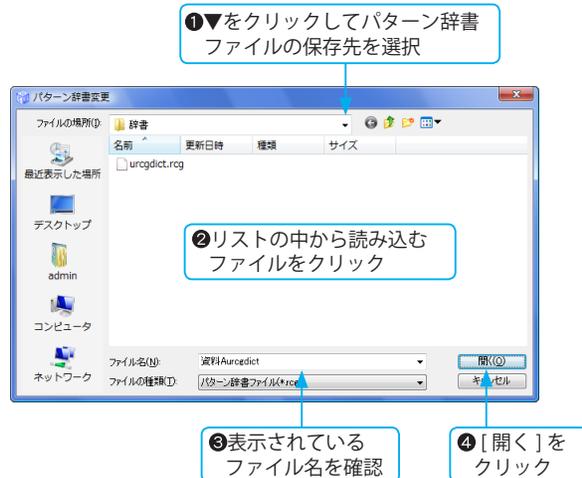
3 辞書ファイルを指定する

※パターン辞書ファイルを新規に作成する場合は、[ファイル名] に新たなファイル名を入力して保存します。

パターン辞書ファイルの保存場所

「ドキュメント」の "¥ 読取革命 ¥ 辞書 ¥urcgdict.rcg" に保存されます。

※ Windows XP では、「マイ ドキュメント」が「ドキュメント」に相当します。

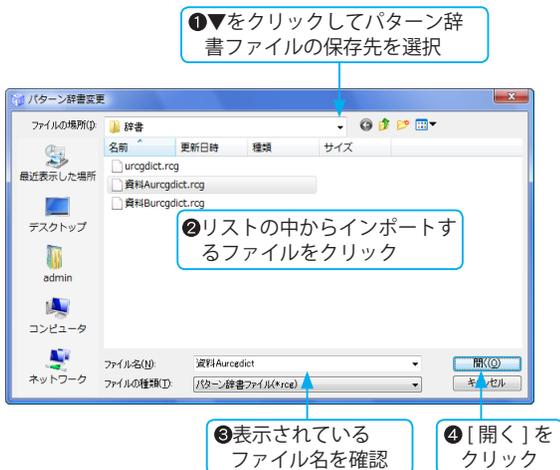
※旧バージョンで使用していたパターン辞書ファイルは、インストール時に上記の場所にコピーされます。

インポートする

現在使用しているパターン辞書に別のパターン辞書をインポートします。

1 [パターン辞書] を選択する

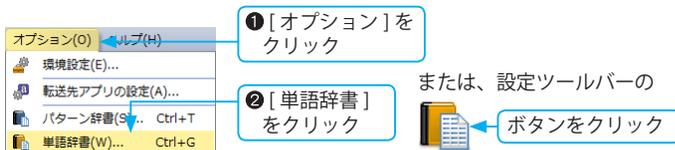
2 パターン辞書をインポートする

3 辞書ファイルを指定する

ユーザー辞書

単語辞書

「読取革命」の文字認識は、１つの文字画像に対して複数の候補文字を返し、その中から日本語の語句として正しいと思われる文字を選び出しています。単語辞書はファイルを替えて複数登録できます。内容に応じた単語辞書を使用すると、認識率が向上します。

登録する

1 [単語辞書] を選択する

2 登録する

3 終了する

※単語は現在使用中の単語辞書ファイルに追加されます。

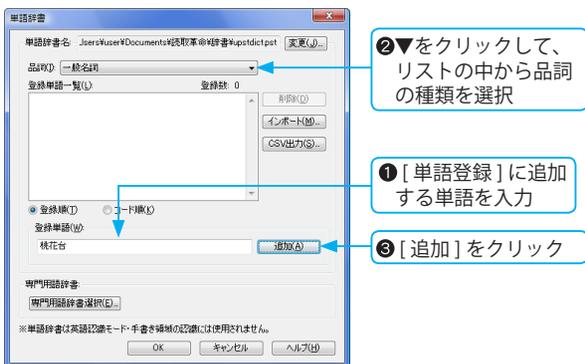
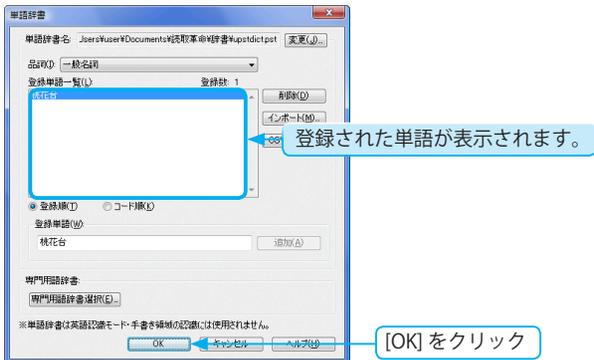
※既に登録されている単語は追加登録できません。

※半角文字で入力しても全角文字に変換して登録されます。

※空白文字は登録できません。

※１つの単語辞書ファイルに登録できる単語数は 10,000 語までです。

※登録できる単語の長さは 20 文字までです。

※単語辞書は、英語認識モード・手書き領域の認識には使用されません。

リストの表示順序を変更するには

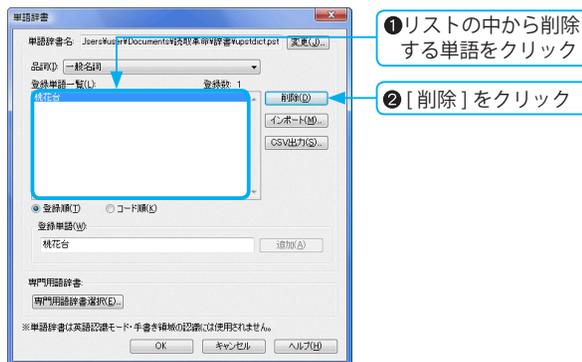
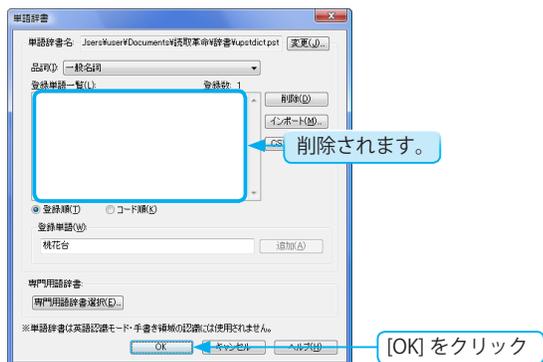
次のいずれか１つのラジオボタンを選択します。

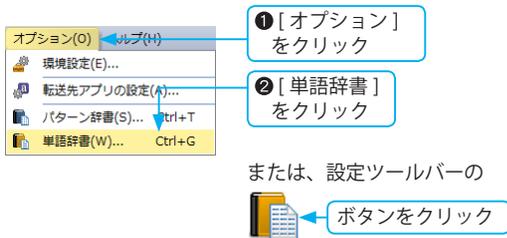
[登録順]　：登録した順序で表示
[コード順]：登録した文字コード数値の順序で表示

削除する

1 [単語辞書] を選択する

2 削除する

※続けて削除を行う場合、[終了] をクリックする前に、手順 2 を繰り返します。

3 終了する

変更する

1 [単語辞書] を選択する

2 単語辞書を変更する

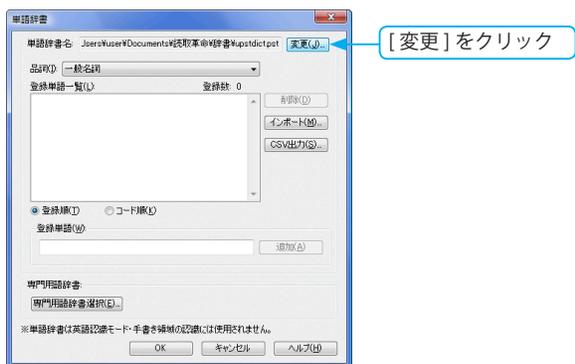
※単語辞書ファイルを新規に作成する場合は、[ファイル名] に新たなファイル名を入力して保存します。

3 辞書ファイルを指定する

❶▼をクリックして単語辞書ファイルの保存先を選択

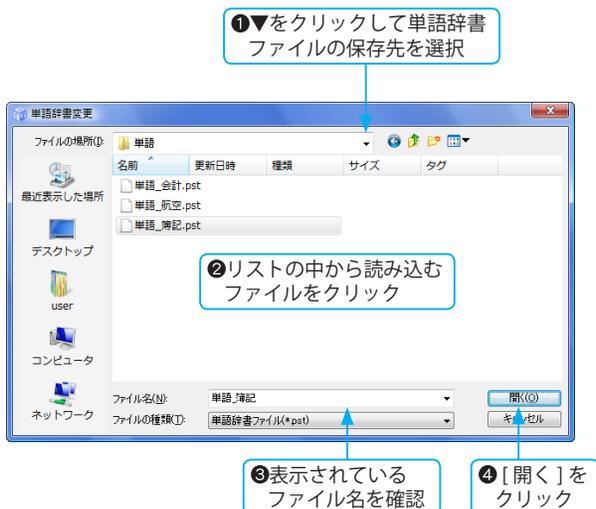
❷リストの中から読み込むファイルをクリック

❸表示されているファイル名を確認

❹ [開く] をクリック

単語辞書ファイルの保存場所

「ドキュメント」の "¥ 読取革命 ¥ 辞書 ¥upstdict.pst" に保存されます。

※ Windows XP では、「マイ ドキュメント」が「ドキュメント」に相当します。

※旧バージョンで使用していた単語辞書ファイルは、インストール時に上記の場所にコピーされます。

インポートする

現在使用している単語辞書に別の単語辞書や CSV 出力したファイルをインポート (追加) します。

1 [単語辞書] を選択する

または、設定ツールバーの

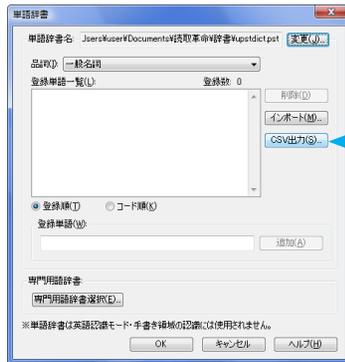
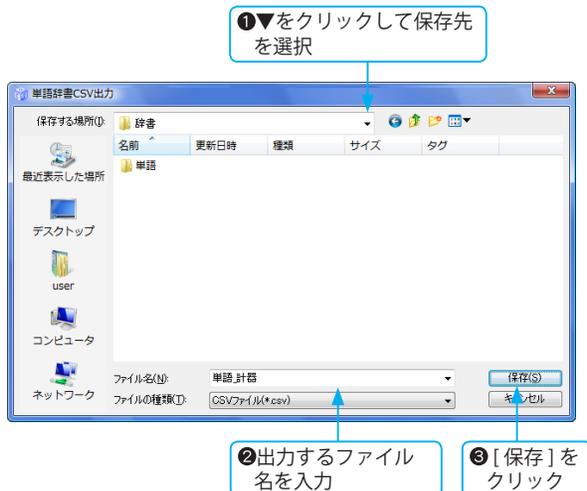
2 単語辞書をインポートする

3 辞書ファイルを指定する

CSV 出力する

現在使用している単語辞書を CSV 出力します。

1 [単語辞書] を選択する

2 単語辞書を CSV 出力する

3 保存する

※専門用語辞書は、日本語認識モードの場合に限り使用できます。デフォルトではすべてのジャンルはオフになっています。

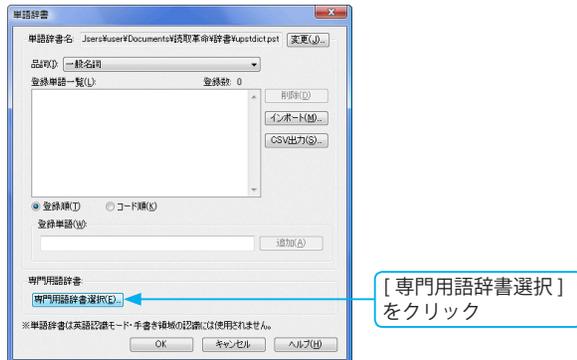
辞書の内容

専門用語辞書のジャンルは下記のとおりです。

CAD
LAN
インターネット
エネルギー
ガス・ガス設備全般
テレコミュニケーション
パソコン・パソコンソフト
ビジネス
プラント
マッキントッシュ
レーダー
医学・薬学
化学・有機
科学・一般自然科学
環境・エコロジー
機械・メカトロ
気象
金属・鉱物
金融
軍事
計測・精密機械
建築
原子力
光学・カメラ・レンズ
航空工学・エアロスペース
情報工学・一般情報処理
生物化学バイオ関連
繊維・衣服
船舶
鉄道
電気・電子
半導体
飛行機・ヘリ
物理
物流 (ロジスティック)
米軍軍事規格
法律
輸入車マニュアル

専門用語辞書を変更する

専門用語を追加することで、使用状況に合わせて後処理の効果を向上させ、文字認識率を向上させます。専門用語辞書は 38 ジャンル、約 61 万語です。

1 [単語辞書] を選択する

または、設定ツールバーの

ボタンをクリック

2 [専門用語辞書選択] を開く

専門用語辞書を追加する

専門用語辞書を削除する

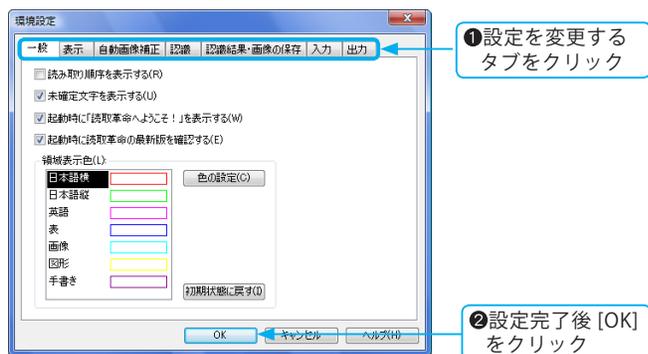
環境設定

環境設定

「環境設定」では、[一般]、[表示]、[自動画像補正]、[認識]、[認識結果・画像の保存]、[入力]、[出力] についてのユーザー定義を設定できます。
「読取革命」の操作環境をカスタマイズしてご利用いただけます。

1 [環境設定] を選択する

または、設定ツールバーの

2 設定を変更する

※各タブの詳細については、次ページ以降に記載しています。

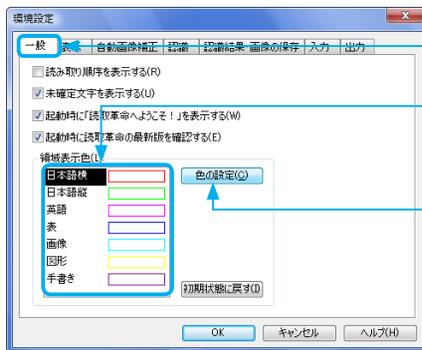
[一般] タブの設定

[読み取り順序を表示する]
チェックボックスがオンの場合、各領域枠の左上に、読取順序番号を常に表示します。

[未確定文字を表示する]
チェックボックスがオンの場合、テキスト表示では未確定文字を赤色で表示します。領域表示・カラーリアル表示・ハイパーチェッカーでは未確定文字の背景を灰色で表示します。誤認識文字を確認するのに便利な機能です。また、印刷すると、テキスト表示では未確定文字に下線を付けて印刷し、領域表示・カラーリアル表示では未確定文字の背景を灰色で印刷します。(ハイパーチェッカーでは印刷はできません。ほかの表示に変更してから印刷を行ってください)

[起動時に「読取革命へようこそ！」を表示する]
チェックボックスがオンの場合、「読取革命」起動時に「読取革命へようこそ！」ダイアログボックスを表示します。

[起動時に読取革命の最新版を確認する]
チェックボックスがオンの場合、「読取革命」起動時にアップデートの確認を開始します。
(☞「自動アップデート」基本編 P.34)

領域表示色
領域枠の色を属性別に変更できます。
領域属性：色を変更する領域属性をクリックで選択します。
[色の設定]：「色の設定」ダイアログボックスを表示し、変更後の色を選択できます。
[初期状態に戻す]：領域枠の色を標準設定に戻します。

環境設定

表示倍率増減幅の具体例

現在の表示倍率が 100%で増減幅の設定が 10%である場合

[拡大] を 1 回→ 110%

[拡大] を 2 回→ 120%

[縮小] を 1 回→ 90%

[縮小] を 2 回→ 80%

任意の倍率に設定する場合

テキストボックスに半角で整数を入力します。

(有効範囲)

[表示倍率増減幅] → 1 ～ 100

[初期表示] → 2 ～ 400

[認識後の表示倍率] → 2 ～ 400

※画像を拡大 / 縮小するには
(☞「画像の表示倍率を変更する」基本編 P.81)

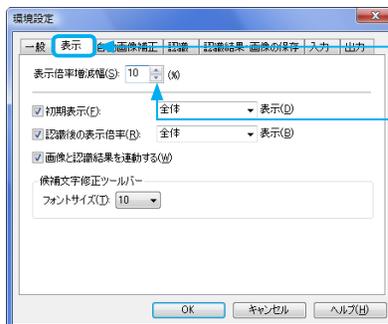
■ [初期表示]
オフのとき→前回画像を開いたときの倍率で表示

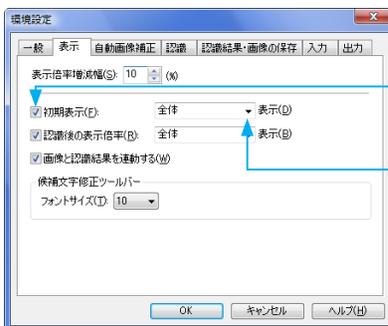
■ [認識後の表示倍率]
オフのとき→認識前の倍率のままで表示

※認識結果ウィンドウの表示倍率
テキスト表示 / ハイパーチェッカーの場合、認識結果ウィンドウの表示倍率は変更できません。

[表示] タブの設定

[表示倍率増減幅]

[表示] メニューの [拡大]/[縮小] をクリックしたときの表示倍率の増減幅を設定します。

[初期表示]

画像を入力したときの表示倍率を設定します。

[認識後の表示倍率]

文字認識およびかんたん認識を実行したあとの画像の表示倍率の設定です。前項の [初期表示] と同様の手順で設定してください。

[画像と認識結果を連動する]

チェックボックスがオンの場合、画像と認識結果の表示倍率が連動します。(認識結果ウィンドウが領域表示、またはカラーリアル表示である場合に限ります)

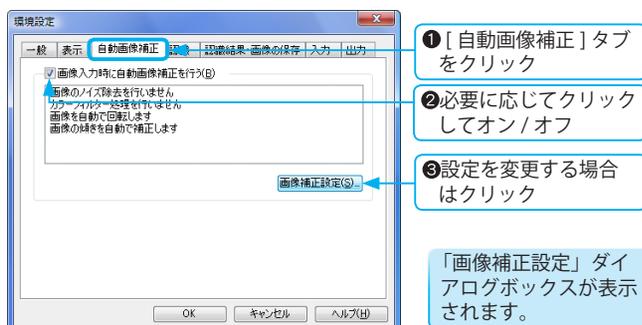
候補文字修正ツールバー

[フォントサイズ] :

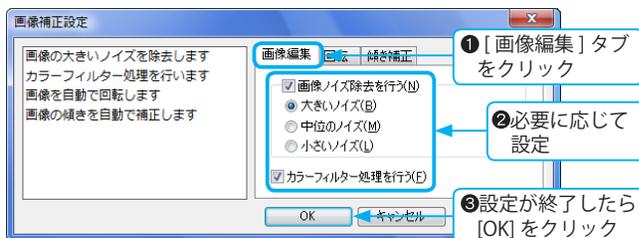
候補文字修正ツールバーの文字サイズを変更します。

[自動画像補正] タブの設定

[画像入力時に自動画像補正を行う]

画像入力時の画像補正 (画像編集・回転・傾き補正) を設定します。
チェックボックスがオンの場合、画像入力後、自動で画像補正を行います。

■画像補正設定 ダイアログボックスの詳細

[画像編集] タブの設定

ノイズ除去やカラーフィルターの設定を行います。

[画像ノイズ除去を行う]

ノイズ除去を行う場合は、チェックボックスをクリックしてオンにし、下記の項目を選択してください。

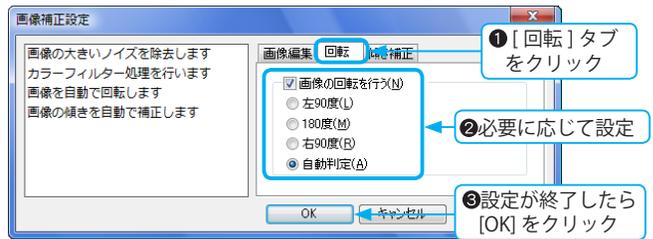
- 大きいノイズ
- 中位のノイズ
- 小さいノイズ

句読点や文字の一部を消さないように、除去するノイズの大きさを選択してください。除去される必要がない部分まで除去されてしまった場合は、すぐに [元に戻す] を実行し、選択するノイズのサイズを変更して再度ノイズ除去を実行してください。

[カラーフィルター処理を行う]

カラーフィルター処理を行う場合は、チェックボックスをクリックしてオンにします。

[回転] タブの設定

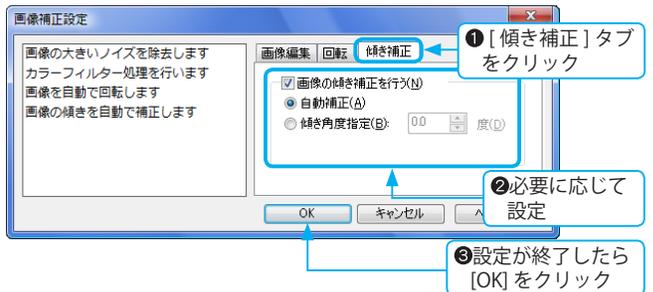
画像を回転させる設定を行います。

[画像の回転を行う]

回転を行う場合は、チェックボックスをクリックして下記の項目を選択してください。

- 左 90 度
- 180 度
- 右 90 度
- 自動判定

※画像ウィンドウに表示された画像の向きが正しく表示されていない場合は文字認識できません。画像の向きが正常となるように回転させてください。

[傾き補正] タブの設定

画像の傾き補正の設定を行います。

[画像の傾き補正を行う]

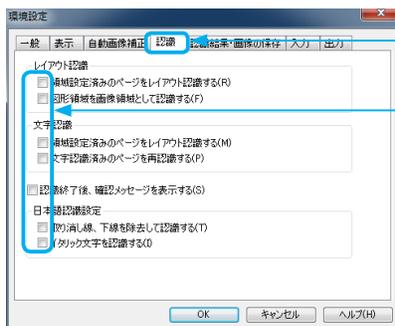
画像の傾き補正を行う場合は、チェックボックスをクリックして下記の項目を選択してください。

- 自動補正

  自動で傾き角度を検出して補正します。
- 傾き角度指定

  指定した傾き角度で補正を行います。

  有効角度は -45.0 ～ +45.0 度で、0.1 度刻みで設定できます。

[認識] タブの設定

レイアウト認識

[領域設定済みのページをレイアウト認識する]

レイアウト認識を実行するときに、領域設定済みのページに対してどのように処理するかを設定します。

・オン：領域枠が設定済みのページも含めて、すべてのページをレイアウト認識します。

・オフ：領域枠の設定を 1 箇所でも行ったページ
→レイアウト認識しません。
領域枠の設定をまったく行っていないページ
→レイアウト認識します。

[図形領域を画像領域として認識する]

領域属性が自動判定に設定されている場合に、図形領域を画像領域としてレイアウト認識するかしないかを設定します。「入門ウィザード」、「かんたん認識」のレイアウト認識時にも設定内容を反映します。

・オン：図形領域を画像領域としてレイアウト認識します。

・オフ：図形領域は、図形領域としてレイアウト認識します。

文字認識

[領域設定済みのページをレイアウト認識する]

文字認識を実行するときに、領域枠が設定済みのページに対してどのように処理するかを設定します。

・オン：領域枠が設定済みのページも含めて、すべてのページをレイアウト認識・文字認識します。

・オフ：領域枠の設定を 1 箇所でも行ったページ
→領域枠の設定を行った箇所だけを文字認識します。
レイアウト認識しません。
領域枠の設定をまったく行っていないページ
→レイアウト認識・文字認識をします。

[文字認識済みのページを再認識する]

文字認識を実行するときに、文字認識済みのページに対してどのように処理するかを設定します。

・オン：全領域枠を再度文字認識します。

・オフ：文字認識していない領域枠だけを文字認識します。

[認識終了後、確認メッセージを表示する]

認識終了を確認するメッセージダイアログボックスの表示 / 非表示を設定します。

・オン：認識終了後、「文字認識が終了しました。」というメッセージダイアログボックスを表示します。[OK] をクリックしてメッセージダイアログボックスを閉じます。

・オフ：メッセージダイアログボックスを表示しません。

日本語認識

[取り消し線、下線を除去して認識する]

認識を実行するときに、取り消し線を除去して認識率を高める設定をします。

・オン：認識するときに、取り消し線や下線を除去して処理を実施します。

・オフ：認識するときに、取り消し線や下線を除去しないで処理を実施します。

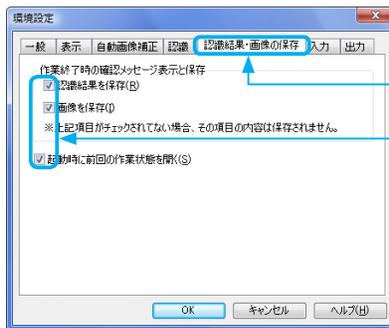
[イタリック文字を認識する]

認識を実行するときに、イタリック（斜体）文字の認識処理を実施することによって認識率を高める設定をします。

・オン：認識するときに、斜体認識処理を実施します。

・オフ：認識するときに、斜体認識処理を実施しません。

※ [取り消し線、下線を除去して認識する] は、縦書きの文字属性には対応していません。

[認識結果・画像の保存] タブの設定

作業終了時の確認メッセージ表示と保存

[認識結果を保存]

「読取革命」終了時に、認識結果の保存を確認するメッセージダイアログボックスの表示 / 非表示を設定します。

- オン：作業を終了して画像を閉じるとき、またはほかの画像を開くときに「認識結果を保存しますか？」というメッセージダイアログボックスを表示します。
- オフ：保存せずに終了します。

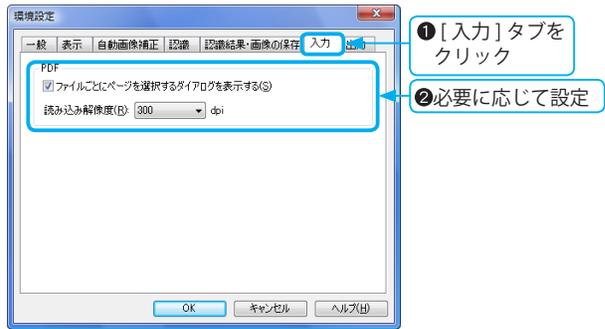
[画像を保存]

「読取革命」終了時に、画像保存の確認メッセージダイアログボックスの表示 / 非表示を設定します。

- オン：作業を終了して画像を閉じるとき、またはほかの画像を開くときに「画像を保存しますか？」というメッセージダイアログボックスを表示します。
- オフ：保存せずに終了します。

[起動時に前回の作業状態を開く]

- オン：起動時に前回作業を終了したときの状態の画像・認識結果を表示するので、作業の続きを行うことができます。
- オフ：起動時、ウィンドウに何も表示しません。

[入力] タブの設定

PDF

[ファイルごと にページを選択するダイアログを表示する]

複数ページの PDF ファイルを読み込む場合に、「ページ指定」ダイアログボックスを表示するかしないかを設定します。

・オン：複数ページ構成の PDF ファイルを読み込むときに、「ページ指定」ダイアログボックスを表示し、読み込むページを指定できます。
(☞「ページ指定 ダイアログボックスの詳細」基本編 P.71)

・オフ：複数ページ構成の PDF ファイルを読み込むときに、「ページ指定」ダイアログボックスを表示しません。この場合、すべてのページを読み込みます。

[読み込み解像度]

PDF ファイル入力時の解像度を設定します。▼をクリックし、[300dpi]、[400dpi] のいずれかを選択してください。

選択できるフォント名

[日本語用フォント]

- MS ゴシック
- MS 明朝
- MS P ゴシック
- MS P 明朝

[英数字用フォント]

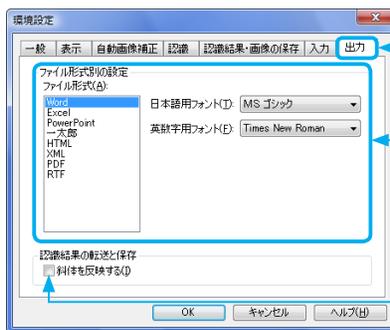
- MS ゴシック
- MS 明朝
- MS P ゴシック
- MS P 明朝
- Times New Roman
- Arial
- Century

※選択できるフォント名の一覧は、お使いのパソコン環境によって異なります。

斜体文字が反映されるファイル形式

- RTF 形式
- DOC 形式 (Word)
- DOCX 形式 (Word)
- XLS 形式 (Excel)
- XLSX 形式 (Excel)
- PPT 形式 (PowerPoint)
- PPTX 形式 (PowerPoint)
- JTD 形式 (一太郎)
- HTML 形式
- XML 形式
- PDF 形式

※斜体文字認識結果は認識結果ウィンドウ内には表示されません。

[出力] タブの設定

ファイル形式別の設定

ファイル形式を選択して設定します。

認識結果の転送と保存

[斜体を反映する]

斜体文字をファイルに反映して認識結果を転送・保存するかを設定します。

- オン ： 認識結果を転送、または保存する場合に、斜体文字をファイルに反映します。
- オフ ： 斜体文字での転送・保存は行いません。

■ファイル形式別の詳細

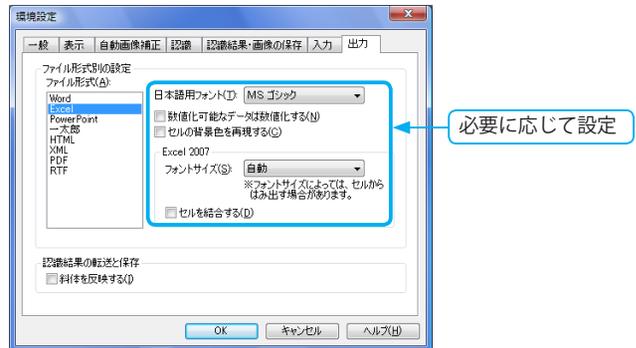
Word/ 一太郎を選択した場合

[日本語用フォント]

日本語用のフォントを選択します。

[英数字用フォント]

英数字用のフォントを選択します。

Excel を選択した場合

[日本語用フォント]

日本語用のフォントを選択します。

[数値化可能なデータは数値化する]

数値としてデータを処理する場合は、チェックボックスをクリックしてオンにします。

[セルの背景色を再現する]

セルの背景色を再現する場合は、チェックボックスをクリックしてオンにします。

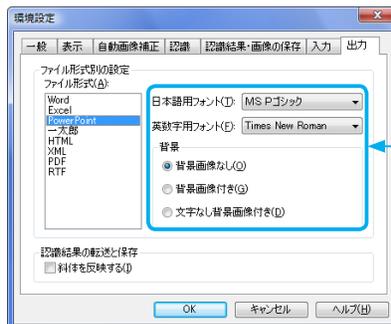
Excel 2007

[フォントサイズ]

フォントサイズを選択します。

[セルを結合する]

セルを結合する場合は、チェックボックスをクリックしてオンにします。

PowerPoint を選択した場合

[日本語用フォント]

日本語用のフォントを選択します。

[英数字用フォント]

英数字用のフォントを選択します。

背景

[背景画像なし]

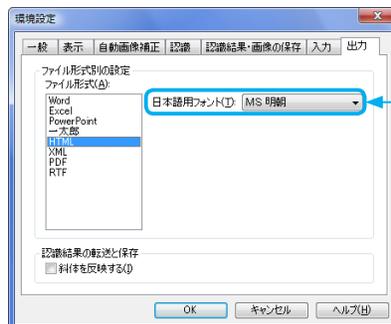
文字・表・図形・画像の領域をレイアウト枠内に保存します。元画像は、背景に保存しません。

[背景画像付き]

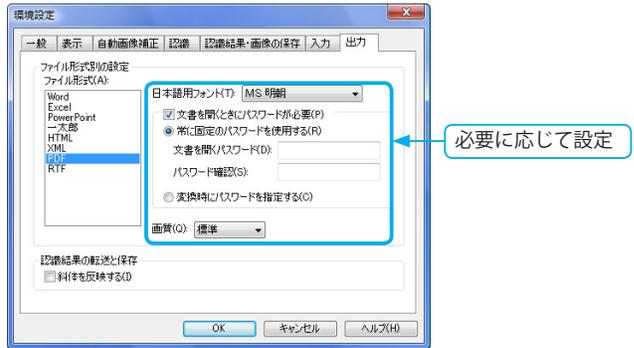
文字・表・図形・画像の領域をレイアウト枠内に保存します。元画像は、背景に保存します。元画像と文字を比較しながら修正するときに便利です。文字の修正後、背景の元画像は削除できます。

[文字なし背景画像付き]

文字・表・図形・画像の領域をレイアウト枠内に保存します。文字・表の領域がない元画像を背景に表示し、その上にレイアウト枠を重ねて出力します。元画像に近い形で出力できます。

HTML/XML/RTF を選択した場合

[日本語用フォント]

日本語用のフォントを選択します。

PDF を選択した場合

[日本語用フォント]

日本語用のフォントを選択します。

[文書を開くときにパスワードが必要]

PDF ファイルの表示に制限を与えるパスワードを設定する場合、チェックボックスをクリックしてオンにし、いずれかを選択してください。

- [常に固定のパスワードを使用する]
  認識結果を保存・転送する場合に、設定したパスワードが PDF ファイルに設定されます。
- [変換時にパスワードを指定する]
  認識結果を保存・転送する場合に、「パスワードによるセキュリティ設定」ダイアログボックスが表示され、任意のパスワードが設定できます。
  (☞「PDF ファイルにパスワードを設定する」基本編 P.125)

画質

[低画質]：

PDF ファイルを低画質で保存・転送します。
ファイルサイズを小さくする場合にお勧めします。

[標準]：

PDF ファイルを標準画質で保存・転送します。

[高画質]：

PDF ファイルを高画質で保存・転送します。

[最高画質]：

PDF ファイルを最高画質で保存・転送します。
繊細な色調をもつ画像の場合にお勧めします。
ファイルサイズは 4 つの中でもっとも大きくなります。

アドインの設定と解除

アドインの設定と解除の概要

「アドインの設定と解除」は、「読取革命」インストール時にインストールされる独立したアプリケーションです。
アドイン設定が可能なアプリケーションのメニューやツールバーに、「読取革命」を起動するボタンを追加、または設定したボタンを解除できます。

「アドインの設定と解除」ダイアログボックスの詳細

① **Microsoft Word**：Word へのアドインを設定します。
② **Microsoft Excel**：Excel へのアドインを設定します。
③ **Microsoft PowerPoint**：PowerPoint へのアドインを設定します。
④ **Adobe Acrobat**：Acrobat へのアドインを設定します。

※アドイン対象アプリケーションがインストールされていない場合は、
　チェックボックスが選択できません。

基本操作の流れ

「アドインの設定と解除」を起動する

↓

アドインを設定する

対象アプリケーションにアドイン設定を行います。

↓

アドインを解除する

対象アプリケーションのアドインを解除します。

起動と終了

「アドインの設定と解除」の起動と終了方法について説明します。

※ Adobe Acrobat のアドインの設定と解除は、コンピューターの管理者権限をもつユーザーで行ってください。

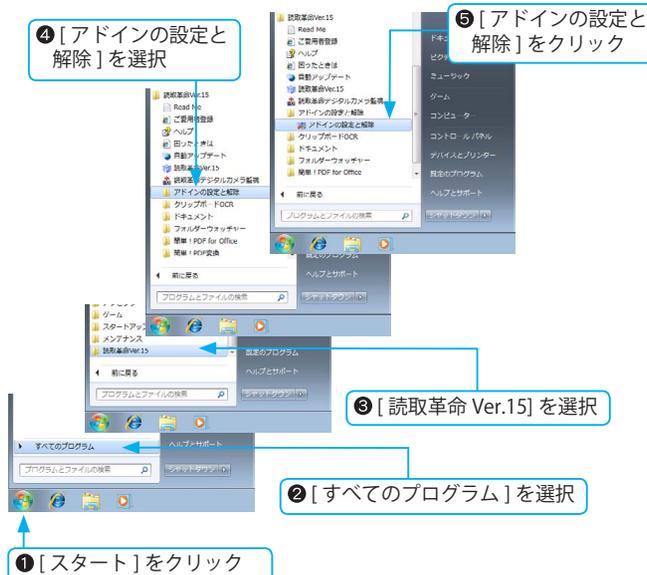
※アドインの設定を実行する前に、設定を行うアプリケーションを終了してください。

※「読取革命」のアドイン設定は、現在ログオンしているユーザーのアプリケーションだけに設定されます。

※ [スタート]-[すべてのプログラム] の表示は、お使いの OS によって異なります。

※ Windows 8 / 7 または Windows Vista をご使用の場合は、「ユーザー アカウント制御」画面が表示されます。プログラムを続行するには許可を行ってください。

起動する

1 メニューを選択する

終了する

1 終了する

[アドインの設定と解除] ダイアログボックスの [OK] をクリックして終了します。

アドインの設定と解除

アドインの設定・アドインの解除

アドインの設定とアドインの解除方法について説明します。

アドイン対象アプリケーション

- Microsoft Word 2010/2007/2003
- Microsoft Excel 2010/2007/2003
- Microsoft PowerPoint 2010/2007/2003
- Adobe Acrobat 10/9/8

※ Microsoft Word/Excel/PowerPoint は、最新のバージョンにアドイン設定されます。Adobe Acrobat は、最後にインストールしたアプリケーションにアドイン設定されます。アドイン設定するバージョンは、任意に選択できません。

※ Microsoft Word/Excel/PowerPoint の 64 ビット版をご利用の場合は、アドイン設定を行うことはできません。

※ Office 2010/2007/2003 をご利用の環境でアドイン設定を行うには、「Office 共有機能」の「Visual Basic for Applications」がインストールされている必要があります。

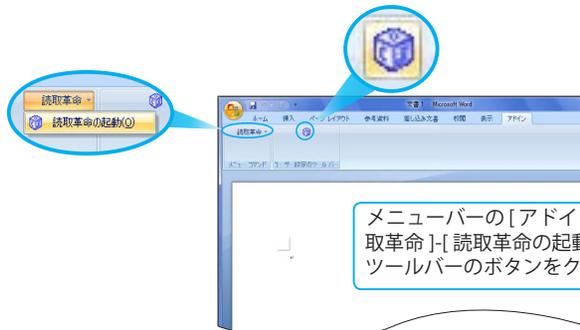
※ [アドイン]-[読取革命]-[読取革命の起動] の表示は、お使いの環境によって異なります。

アドインの設定

1 アドイン設定を行う

指定したアプリケーションにアドイン設定されます。

2 実行結果

Microsoft Word にアドイン設定した場合

アドインの解除

1 アドインを解除する

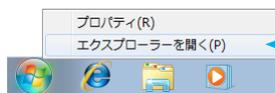
指定したアプリケーションのアドインが解除されます。

アンインストール後にアドインの設定を解除する場合

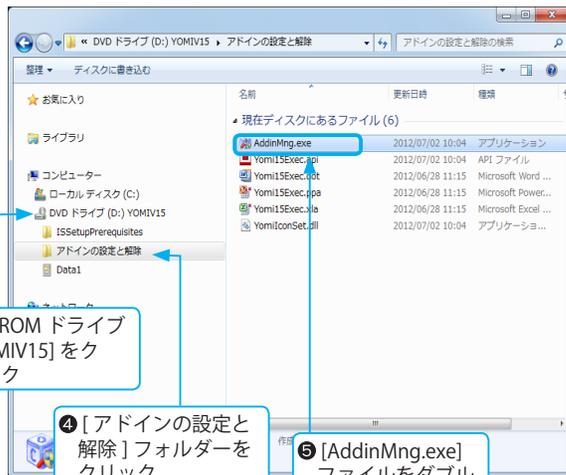
アドイン設定の解除を行わずに「読取革命」をアンインストールすると、アドイン設定したアプリケーションに「読取革命」のツールバーが残ります。この場合、以下の手順で「読取革命」のツールバーを解除してください。

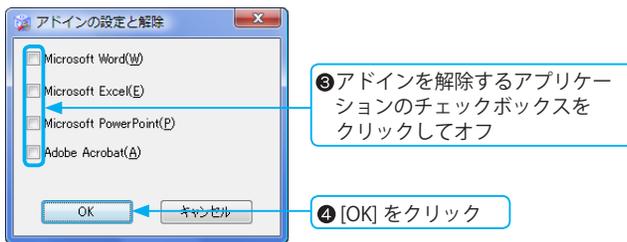
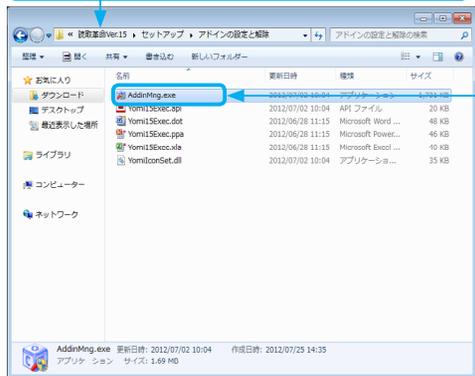
■パッケージ版をご使用の場合

解除を行うには、「読取革命」のセットアップ CD-ROM を用意し、CD-ROM ドライブへセットしてください。

※「読取革命」のインストールプログラムが起動した場合は、[終了]、または [キャンセル] をクリックし、メッセージにしたがって「読取革命」のインストールプログラムを終了させてください。

アドインの設定と解除

指定したアプリケーションのアドインが解除されます。

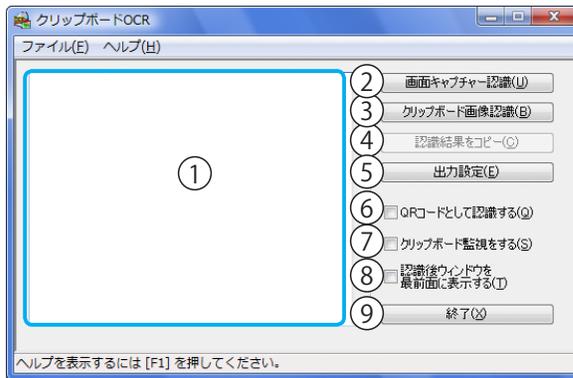
■ダウンロード版をご使用の場合

❶ダウンロード時に保存された「読取革命 Ver.15」-「セットアップ」-「アドインの設定と解除」フォルダーをクリック

❷「AddinMng.exe」ファイルをダブルクリック

指定したアプリケーションのアドインが解除されます。

クリップボード OCR

クリップボード OCR の概要

「クリップボード OCR」は、「読取革命」インストール時にインストールされる独立したアプリケーションです。「読取革命」を起動することなく使用できます。
「クリップボード OCR」は、指定した画像を文字認識し、編集可能な文字データに変換します。
また、QR コードを読み取り、情報を取得できます。
※「クリップボード OCR」は、日本語・英語文字認識対応です。罫線や図形は認識できません。

「クリップボード OCR」ウィンドウ詳細

①認識結果ウィンドウ
　入力された画像の認識結果を表示・編集します。

② [画面キャプチャー認識]
　画面キャプチャーで取り込んだ画像を文字認識します。

③ [クリップボード画像認識]
　クリップボードに保存された画像を文字認識します。
　クリップボードに画像が保存されていない状態では選択できません。

④ [認識結果をコピー]
　認識結果に表示された文字列をクリップボードに保存します。

⑤ [出力設定]
　「出力設定」ダイアログボックスが表示されます。認識結果を出力するときの詳細が、設定できます。

⑥ [QR コードとして認識する]
　チェックボックスがオンの場合、入力された QR コードを認識し、情報を取得できます。

⑦ [クリップボード監視をする]
　チェックボックスがオンの場合、「クリップボード OCR」起動中に画像がクリップボードに保存されると、自動的に文字認識処理を実行します。

⑧ [認識後ウィンドウを最前面に表示する]
　チェックボックスがオンの場合、文字認識の終了後に「クリップボード OCR」を最前面に表示します。
　※ウィンドウが最小化されている場合は無効です。

⑨ [終了]
　「クリップボード OCR」を終了します。

基本操作の流れ

「クリップボード OCR」を起動する

↓

ディスプレイ上の画像を取り込む

画面キャプチャーで範囲指定した領域、またはクリップボードに保存された画像が対象となります。

↓

文字認識する

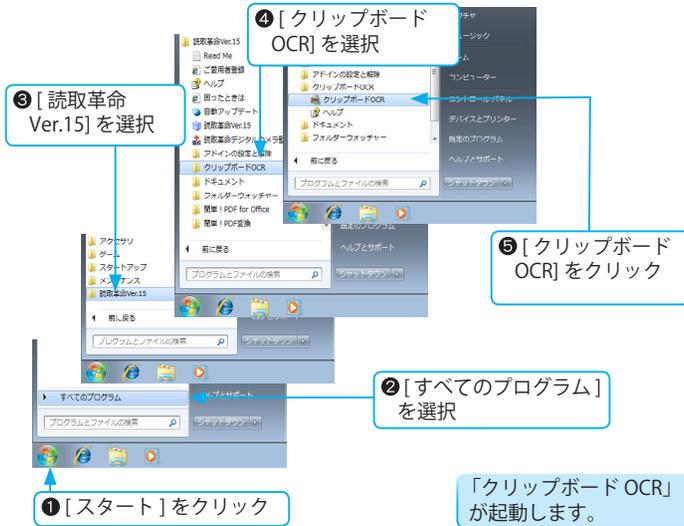
「画面キャプチャー認識」や「クリップボード画像認識」で文字認識処理を行います。
※オプションを設定することによって、さらに効率良く文字認識処理を行うことができます。

起動と終了

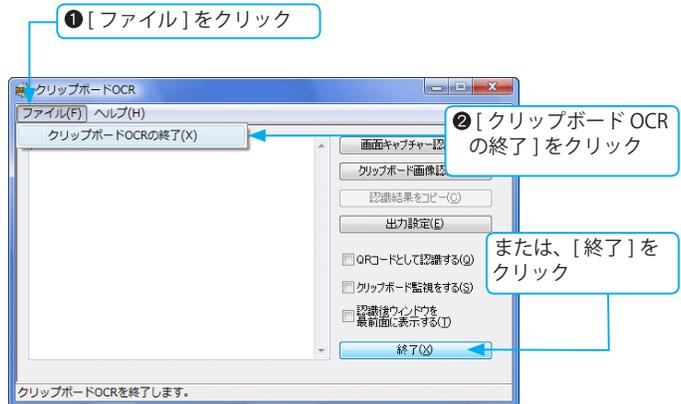
「クリップボード OCR」の起動と終了方法について説明します。

起動する

1 メニューを選択する

「クリップボード OCR」が起動します。

※ [スタート]-[すべてのプログラム] の表示は、お使いの OS によって異なります。

終了する

1 メニューを選択する

クリップボード OCR

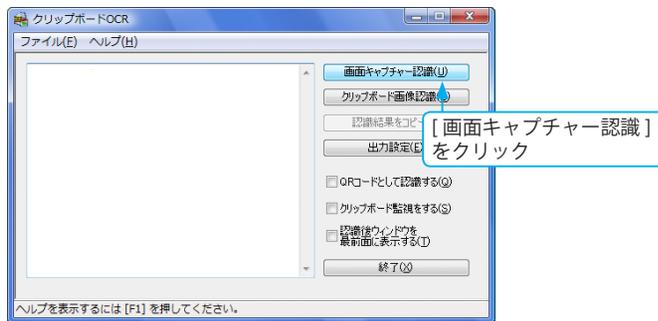
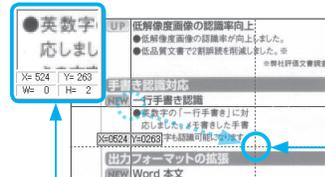
文字認識する

ディスプレイ上に表示された画像を文字認識します。画像の取り込みは、画面キャプチャーで範囲指定された領域と、クリップボードに保存された画像を対象とする 2 とおりが用意されています。
QR コードを読み取り、情報を取得できます。
※既に認識結果が表示されている状態で文字認識を行うと、前回の認識結果は削除されます。

画面キャプチャー認識

1 [画面キャプチャー認識] を選択する

※[画面キャプチャー認識]が選択されると、「クリップボード OCR」のウィンドウは最小化されます。選択する前に不要なウィンドウはあらかじめ閉じておきましょう。

※[画面キャプチャー認識]を中止するには、キーボードの [Esc] キーを押します。

2 範囲指定する

※ (☞「領域の範囲指定」基本編 P.82)

3 実行結果

■認識結果をコピー
認識結果ウィンドウで文字列を選択して [認識結果をコピー] をクリックすると、選択した文字列がクリップボードに保存されます。
また、文字列を選択していない場合は、認識結果ウィンドウに表示されたすべての文字列がクリップボードに保存されます。

※文字認識後、認識結果文字列は自動的にクリップボードに保存されます。

※認識結果ウィンドウでは文字列の編集を行うことができます。

[Print Screen] キーがない場合

パソコンの機種によっては、[PrtSc] と表記されている場合があります。
また、[Fn] キーとの組み合わせで [PrtSc] キーが有効になる場合があります。パソコンの取扱説明書をご確認のうえ、操作を行ってください。

■クリップボード監視をする
チェックボックスがオンの場合、「クリップボード OCR」起動中に画像がクリップボードに保存されると、自動的に文字認識処理を実行します。

■認識結果をコピー
認識結果ウィンドウで文字列を選択して [認識結果をコピー] をクリックすると、選択した文字列がクリップボードに保存されます。
また、文字列を選択していない場合は、認識結果ウィンドウに表示されたすべての文字列がクリップボードに保存されます。

※文字認識後、認識結果文字列は自動的にクリップボードに保存されます。

クリップボード画像認識

1 クリップボードに画像を保存する

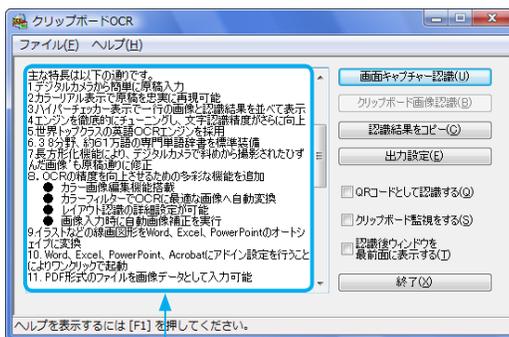
❶認識対象となるウィンドウを最前面に表示

❷キーボードの [Alt] + [Print Screen] を押す

ディスプレイ全面をクリップボードに保存する場合は、[Print Screen] キーを押します。

または、「読取革命」や「読取革命」以外の画像編集ソフトで切り取り、コピー

2 [クリップボード画像認識] を選択する

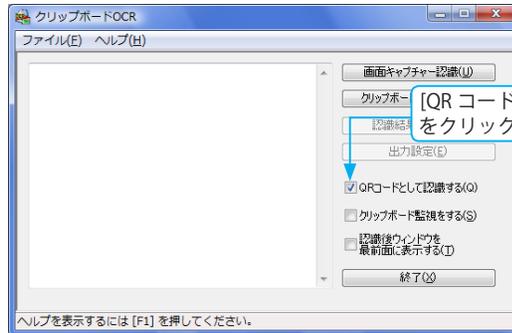
3 実行結果

認識結果が表示されます。

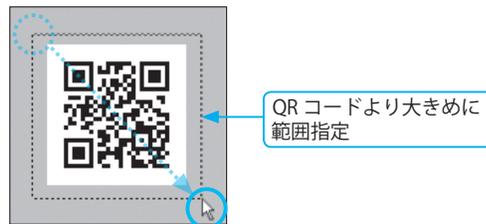
※認識結果ウィンドウでは文字列の編集を行うことができます。

QR コードの認識

1 [QR コードとして認識する] を選択する

2 QR コードを範囲指定する

[画面キャプチャー認識] で範囲指定した領域、または [クリップボード画像認識] でクリップボードに保存された QR コードの画像が対象となります。いずれかの方法で読み込みを行います。

※ QR コードの境界線付近で範囲指定を行うと、QR コードの読み取りに失敗する場合があります。

※読み取り可能な QR コードの条件は、仕様の「QR コード」基本編 P.170 を参照してください。

3 実行結果

※認識結果ウィンドウでは文字列の編集を行うことができます。

出力設定

「クリップボード OCR」では、事前に認識結果の出力方法を設定できます。

改行の例

原文

今日は良い
天気だ。
散歩にでも
行こう。

[行毎]

今日は良い
天気だ。
散歩にでも
行こう。

[なし]

今日は良い天気だ。散歩にでも行こう。

[自動判定]

今日は良い天気だ。
散歩にでも行こう。

※認識結果ウィンドウの幅が狭いと、見かけ上、設定とは異なるところで次の行へ送られることがあります。幅の調整をしてください。

空白 (先頭) の例

原文 __今日は良い天気だ。
[あり]__今日は良い天気だ。
[なし] 今日は良い天気だ。

空白 (文字間) の例

原文 A__B__C
[あり]A__B__C
[なし]ABC

■出力設定 ダイアログボックスの詳細

改行

改行の設定を行います。
[行毎]：行ごとに改行します。
[なし]：改行しません。
[自動判定]：行ごとに改行の必要性を自動判定します。

空白 (先頭)

行頭に空白を挿入する設定を行います。
[あり]：行頭に空白を挿入します。
[なし]：行頭に空白を挿入しません。

空白 (文字間)

文字間に空白を挿入する設定を行います。
[あり]：文字間に空白を挿入します。
[なし]：文字間に空白を挿入しません。

アルファベット

アルファベットの表示を全角 / 半角に設定します。
[全角]：アルファベットをすべて全角にします。
[半角]：アルファベットをすべて半角にします。
[自動判定]：画像での大きさを見て、全角か半角かを自動判定します。

数字

数字の表示を全角 / 半角に設定します。
[全角]：数字をすべて全角にします。
[半角]：数字をすべて半角にします。
[自動判定]：画像での大きさを見て、全角か半角かを自動判定します。

記号

記号の表示を全角 / 半角に設定します。
[全角]：記号をすべて全角にします。
[半角]：記号をすべて半角にします。
[自動判定]：画像での大きさを見て、全角か半角かを自動判定します。

原稿どおりにしたい場合の設定例

[改行] →行毎

[空白 (先頭・文字間)] →なし

[アルファベット・数字・記号・カタカナ]
→自動判定

文書サイズを小さくしたい場合の設定例

[改行] →なし

[空白 (先頭・文字間)] →なし

[アルファベット・数字・記号・カタカナ]
→半角

英文書の設定例

[改行] →自動判定

[空白 (先頭・文字間)] →なし

[アルファベット・数字・記号・カタカナ]
→自動判定

カタカナ

カタカナの表示を全角 / 半角に設定します。

[全角]：カタカナをすべて全角にします。

[半角]：カタカナをすべて半角にします。

[自動判定]：画像での大きさを見て、全角か半角かを自動判定します。

フォルダーウォッチャー

フォルダーウォッチャーの概要

「フォルダーウォッチャー」は、「読取革命」インストール時にインストールされる独立したアプリケーションです。「読取革命」を起動することなく使用できます。
「フォルダーウォッチャー」は、指定したフォルダーを常に監視し、保存された画像ファイルを自動的に文字認識して、指定ファイル形式で出力先フォルダーに保存します。

「フォルダーウォッチャー」ウィンドウ詳細

■使用頻度の高い機能をアイコンボタンで表示します。
ツールバーには3つのボタンが表示されます。

■現在の監視、または作業の状態を表示します。

①[**監視する**]
　指定したフォルダーの監視を行います。
②[**監視しない**]
　指定したフォルダーの監視を中止します。
③[**環境設定**]
　「環境設定」ダイアログボックスを表示します。
　フォルダーの監視中は選択できません。

基本操作の流れ

「フォルダーウォッチャー」を起動する

↓

監視・出力フォルダーを設定する

監視フォルダー・出力フォルダーの設定を行うと、指定したフォルダーの監視を開始します。設定変更の場合や、初回起動時は「環境設定」で変更します。

↓

監視フォルダーに画像ファイルを保存する

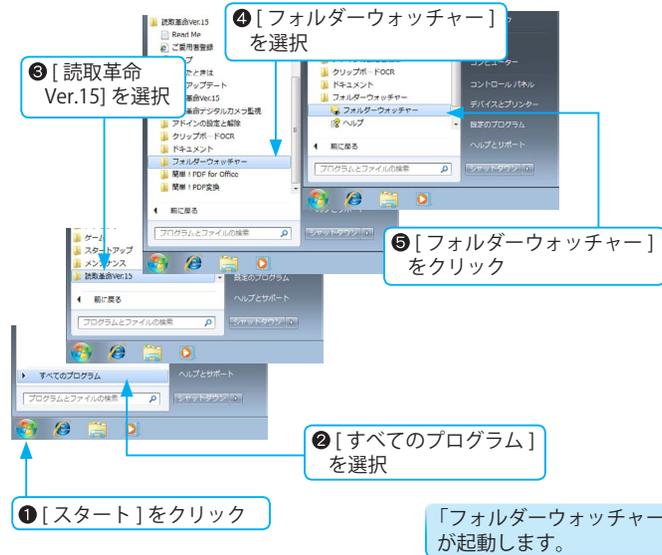
監視中に、監視フォルダーへ対応する画像ファイルが保存されると、文字認識を自動で行います。
監視を開始すると、作業状態は状態ウィンドウに表示されます。

↓

出力フォルダーに指定ファイル形式で保存される

文字認識結果が、指定ファイル形式で出力フォルダーに保存されます。

起動と終了

「フォルダーウォッチャー」の起動と終了方法について説明します。

※初回起動時や、監視フォルダーが設定されていない場合は、起動時に「環境設定」ダイアログボックスが表示されます。

※[スタート]-[すべてのプログラム]の表示は、お使いのOSによって異なります。

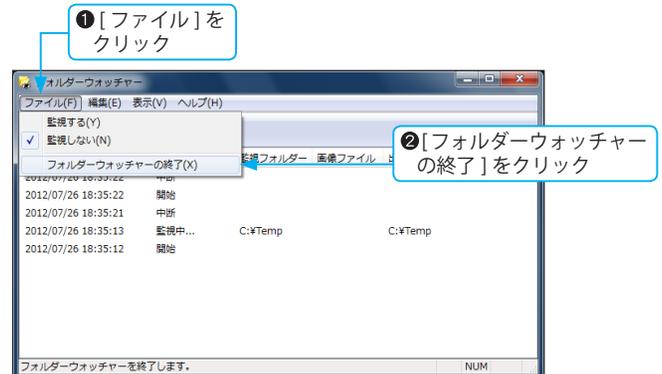
起動する

1 メニューを選択する

「フォルダーウォッチャー」が起動します。

終了する

1 メニューを選択する

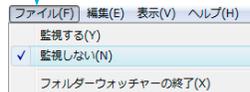
フォルダーウォッチャー

監視する・監視しない

画像ファイルの入力状況を監視、または中止します。
監視フォルダーとして指定されたフォルダーに新しく画像ファイルが保存された場合、文字認識を開始します。
また、監視は任意に中止できます。

監視対象画像ファイル形式

- TIFF ファイル (*.tif,*.tiff)
  ※非圧縮 /G3 圧縮 /G4 圧縮 /JPEG 圧縮 /Exif/PackBits に対応
- BMP ファイル (*.bmp)
- ペイントブラシファイル (*.dcx,*.pcx)
- JPEG ファイル (*.jpg,*.jpeg)
- PDF ファイル (*.pdf)
- Kodak 形式ファイル (*.fpx,*.pcd)
- FAX 形式ファイル (*.fxs,*.ica)
- Icon および Cursor ファイル (*.ico,*.cur,*.ani)
- Macintosh Pict ファイル (*.pct)
- Windows メタファイル (*.wmf,*.emf)
- Windows クリップボード (*.clp)
- Windows AVI ファイル (*.avi)
- XpicMap ファイル (*.xpm)
- Interchange File Format ファイル (*.iff)
- Portable Bitmap Utilities ファイル (*.pbm)
- Dr. Halo ファイル (*.cut)
- Photoshop 3.0 ファイル (*.psd)
- Portable Network Graphics ファイル (*.png)
- Truevision TARGA ファイル (*.tga)
- Encapsulated PostScript ファイル (*.eps)
- Sun Raster(*.ras)
- WordPerfect(*.wpg)
- X window Dump(*.xwd)
- XBit Map(*.xbm)
- Flic Animation(*.flc)
- Silicon Graphics Image(*.sgi)
- IntergraphRLE(*.itg)

監視する

1 [監視する] を選択する

監視しない

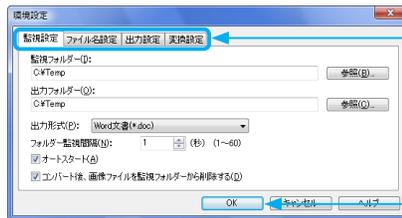
1 [監視しない] を選択する

❶ [ファイル] をクリック

環境設定

「環境設定」では用途に応じて「フォルダーウォッチャー」の環境を変更できます。
「フォルダーウォッチャー」の初回起動時は、「環境設定」ダイアログボックスが自動的に表示されます。

※フォルダー監視中に「環境設定」の変更はできません。フォルダー監視を中止して、各項目を変更してください。

1 [環境設定] を選択する

2 設定を変更する

※各タブの詳細については、次ページ以降に記載しています。

選択できる出力形式の詳細

●レイアウト枠付き文書で出力する場合
・Microsoft Word 文書 (*.doc)
・Microsoft Excel 文書 (*.xls)
・Microsoft PowerPoint 文書 (*.ppt)
・書式付きファイル (*.rtf)
・一太郎ファイル (*.jtd)

●レイアウト枠なし文書で出力する場合
・一太郎 (本文) ファイル (*.jtd)
※表・画像・図形は、レイアウト枠付きで出力されます。

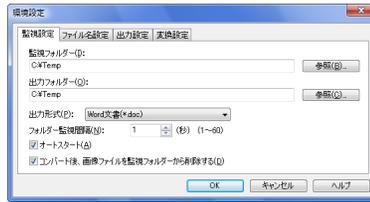
● PDF ファイルに出力する場合
PDF ファイルの文字 (認識結果) は、テキストのコピーおよび検索が可能です。

・PDF ファイル (*.pdf)
元画像の上に文字認識で再現された文字色の認識結果を重ねて出力します。

・PDF(透明文字) ファイル (*.pdf)
元画像の上に透明の認識結果を重ねて出力します。元画像がそのまま PDF ファイルに再現されます。

・PDF(高圧縮) ファイル (*.pdf)
カラー画像やグレースケール画像のファイルサイズを小さく抑えて出力します。文字画像と背景画像を分離し、それぞれ適した圧縮率でファイルが作成されるため、文字をはっきりと表示できます。文字画像と背景画像の上に透明の認識結果を重ねて出力します。

●インターネットのホームページ文書に出力する場合
・HTML 文書 (*.htm)
・XML 文書 (*.xml)

[監視設定] タブの設定

[監視フォルダー]
監視するフォルダーを、[参照] をクリックして設定します。
[出力フォルダー] が未入力の場合、[監視フォルダー] で設定したフォルダーのパスが自動的に [出力フォルダー] に表示されます。

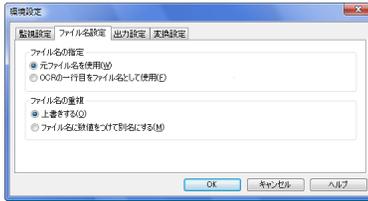
[出力フォルダー]
変換したファイルを出力するフォルダーを、[参照] をクリックして設定します。

[出力形式]
変換したファイルを出力するファイル形式を指定します。
出力可能なファイル形式
・Word 文書 (*.doc)
・Excel 文書 (*.xls)
・PowerPoint 文書 (*.ppt)
・一太郎ファイル (*.jtd)
・一太郎 (本文) ファイル (*.jtd)
・書式付きファイル (*.rtf)
・HTML 文書 (*.htm)
・テキストファイル (*.txt)
・CSV ファイル (*.csv)
・PDF ファイル (*.pdf)
・PDF(透明文字) ファイル (*.pdf)
・PDF(高圧縮) ファイル (*.pdf)
・XML 文書 (*.xml)

[フォルダー監視間隔]
フォルダー監視を行う間隔を秒単位で指定します。(1 〜 60 までの半角数値)

[オートスタート]
「フォルダーウォッチャー」起動時と、「環境設定」の確定時に、フォルダー監視を開始します。自動的に監視を開始しない場合は、チェックボックスをクリックして、オフにしてください。

[コンバート後、画像ファイルを監視フォルダーから削除する]
出力先フォルダーに指定ファイル形式で出力したあと、監視フォルダーから変換元の画像ファイルを削除します。元の画像ファイルを残す場合は、チェックボックスをクリックして、オフにしてください。

[ファイル名設定] タブの設定

ファイル名の指定

[元ファイル名を使用]：

指定したファイル形式に変換して保存する場合、認識対象となる画像ファイルと同じファイル名で、出力フォルダーに保存されます。

[OCR の一行目をファイル名として使用]：

指定したファイル形式に変換して保存する場合、認識結果の一行目文字列をファイル名とし、出力フォルダーに保存されます。

ファイル名の重複

[上書きする]：

出力フォルダーに同名のファイルが存在する場合、上書き保存します。

[ファイル名に数値をつけて別名にする]：

出力フォルダーに同名のファイルが存在する場合、末尾に数値番号を追加し、新規ファイルとして保存します。

[出力設定] タブの設定

認識結果の保存

[斜体を反映する]：

斜体文字を認識した場合、斜体文字を保存するファイルに反映させます。

PDF ファイルの保存

[低画質]：

PDF ファイルを低画質で保存します。
ファイルサイズを小さくする場合にお勧めします。

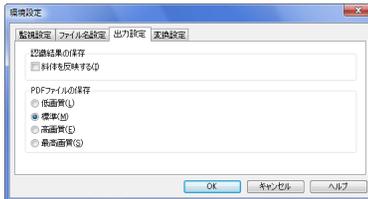
[標準]：

PDF ファイルを標準画質で保存します。

[高画質]：

PDF ファイルを高画質で保存します。

[最高画質]：

PDF ファイルを最高画質で保存します。
繊細な色調をもつ画像の場合にお勧めします。
ファイルサイズは 4 つの中でもっとも大きくなります。

斜体文字が反映されるファイル形式

- RTF 形式
- DOC 形式 (Word)
- XLS 形式 (Excel)
- PPT 形式 (PowerPoint)
- JTD 形式 (一太郎)
- HTML 形式
- XML 形式
- PDF 形式

※「フォルダーウォッチャー」では、PDF ファイルにファイルを開くためのパスワードを設定できません。ファイルを開くためのパスワードを設定する場合は、「読取革命」を使用して PDF ファイルを作成してください。

改行の例

原文

今日は良い
天気だ。
散歩にでも
行こう。

[行毎]

今日は良い
天気だ。
散歩にでも
行こう。

[なし]

今日は良い天気だ。散歩にでも行こう。

[自動判定]

今日は良い天気だ。
散歩にでも行こう。

※認識結果ウィンドウの幅が狭いと、見かけ上、設定とは異なるところで次の行へ送られることがあります。幅の調整をしてください。

空白 (先頭) の例

原文　__今日は良い天気だ。

[あり]__今日は良い天気だ。

[なし] 今日は良い天気だ。

空白 (文字間) の例

原文　A__B__C

[あり]A__B__C

[なし]ABC

原稿どおりにしたい場合の設定例

[改行] →行毎

[空白 (先頭・文字間)] →なし

[アルファベット・数字・記号・カタカナ]
→自動判定

文書サイズを小さくしたい場合の設定例

[改行] →なし

[空白 (先頭・文字間)] →なし

[アルファベット・数字・記号・カタカナ]
→半角

英文書の設定例

[改行] →自動判定

[空白 (先頭・文字間)] →なし

[アルファベット・数字・記号・カタカナ]
→自動判定

[変換設定] タブの設定

改行

改行の設定を行います。

[行毎]：行ごとに改行します。
[なし]：改行しません。
[自動判定]：行ごとに改行の必要性を自動判定します。

空白 (先頭)

行頭に空白を挿入する設定を行います。

[あり]：行頭に空白を挿入します。
[なし]：行頭に空白を挿入しません。

空白 (文字間)

文字間に空白を挿入する設定を行います。

[あり]：文字間に空白を挿入します。
[なし]：文字間に空白を挿入しません。

アルファベット

アルファベットの表示を全角 / 半角に設定します。

[全角]：アルファベットをすべて全角にします。
[半角]：アルファベットをすべて半角にします。
[自動判定]：画像での大きさを見て、全角か半角かを自動判定します。

数字

数字の表示を全角 / 半角に設定します。

[全角]：数字をすべて全角にします。
[半角]：数字をすべて半角にします。
[自動判定]：画像での大きさを見て、全角か半角かを自動判定します。

記号

記号の表示を全角 / 半角に設定します。

[全角]：記号をすべて全角にします。
[半角]：記号をすべて半角にします。
[自動判定]：画像での大きさを見て、全角か半角かを自動判定します。

カタカナ

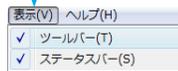
カタカナの表示を全角 / 半角に設定します。

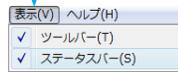
[全角]：カタカナをすべて全角にします。
[半角]：カタカナをすべて半角にします。
[自動判定]：画像での大きさを見て、全角か半角かを自動判定します。

ツールバー・ステータスバーの表示 / 非表示

ツールバーやステータスバーの表示 / 非表示を選択できます。

ツールバーの表示 / 非表示

1 表示または非表示にする

ステータスバーの表示 / 非表示

1 表示または非表示にする

簡単！ PDF for Office

簡単！ PDF for Office の概要

「簡単！ PDF for Office」は、「読取革命」インストール時にインストールされる独立したアプリケーションです。「読取革命」を起動することなく使用できます。
「簡単！ PDF for Office」は、メイン画面にドラッグ & ドロップされた PDF ファイルを Word・Excel・テキスト・JPEG・BMP 形式のファイルに変換、および「読取革命」に読み込みます。

「簡単！ PDF for Office」ウィンドウ詳細

①[作成ファイル]
変換できるファイル形式を表示します。
選択できるファイル形式：Word/Excel/ テキスト /JPEG/BMP/ 読取革命

②[ドラッグ & ドロップ領域]
PDF ファイルをドラッグ & ドロップする領域です。

③[終了]
「簡単！ PDF for Office」を終了します。

基本操作の流れ

「簡単！ PDF for Office」を起動する

↓

ファイル形式を選択する

[作成ファイル] のリストから変換するファイル形式を選択します。

↓

PDF ファイルをドラッグ & ドロップする

ファイル変換処理を行います。

↓

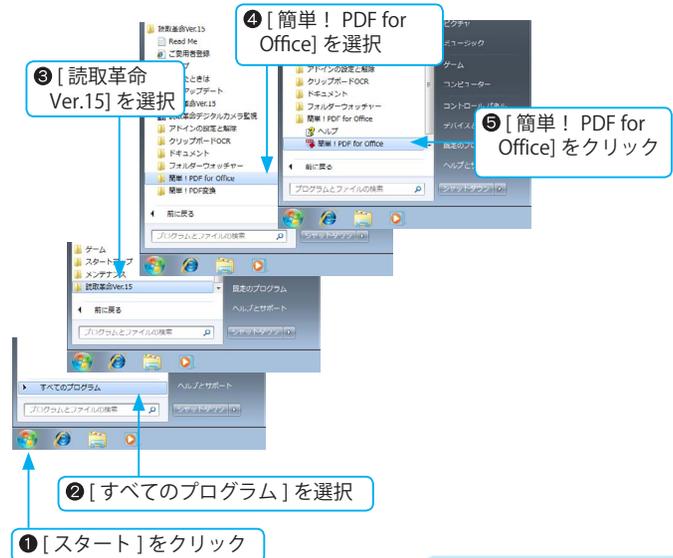
指定したファイル形式で作成・保存される

変換前のファイルが置かれているフォルダー内に、変換前のファイルと同名のフォルダーが自動的に作成され、そのフォルダー内に変換処理後のファイルが作成されます。

起動と終了

「簡単！ PDF for Office」の起動と終了方法について説明します。

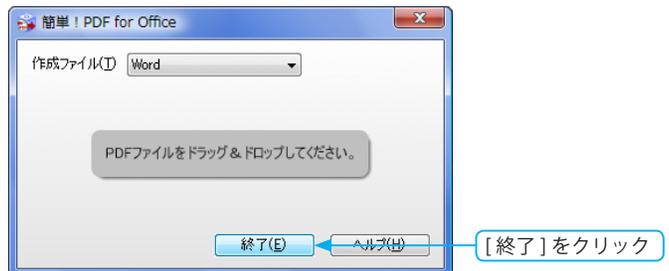
起動する

1 メニューを選択する

※ [スタート]-[すべてのプログラム] の表示は、お使いの OS によって異なります。

「簡単！ PDF for Office」が起動します。

終了する

1 [終了] を選択する

簡単！PDF for Office

PDF ファイルを変換する

PDF ファイルをドラッグ＆ドロップして、指定したファイル形式に変換します。
また、TIFF ファイルに変換し、「読取革命」に表示します。

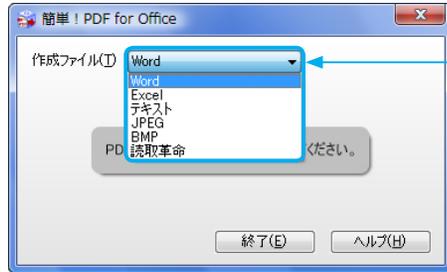
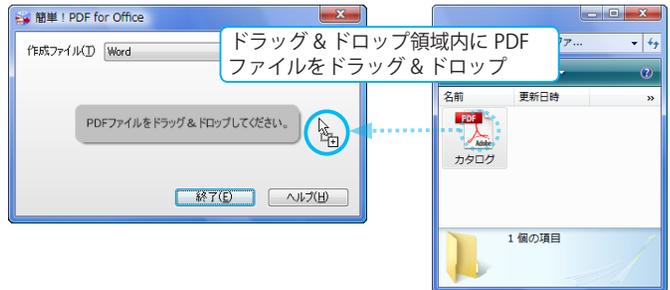
変換できるファイル形式

- Microsoft Word(*.doc)
- Microsoft Excel(*.xls)
- テキスト (*.txt)
- JPEG(*.jpg)
- BMP(*.bmp)
- 読取革命

[作成ファイル] リストから「 読取革命 」を選択した場合の PDF ファイルは、TIFF ファイルへ変換され、「読取革命」に読み込まれます。

複数ファイル変換での注意点

PDF ファイル以外を含む複数ファイルを選択してドラッグ＆ドロップした場合、PDF ファイル以外のファイルは変換されません。

1 ファイル形式を選択する

2 PDF ファイルをドラッグ＆ドロップする

※複数の PDF ファイルを選択して、一度にドラッグ＆ドロップできます。

ファイル名の重複

出力フォルダーに同名のファイルが存在する場合、各ファイル名の末尾には連続した数値番号が付加され、別名で保存されます。

[Word/Excel/ テキスト] を選択した場合

選択した形式に関連づけられた外部アプリケーションが起動し、作成されたファイルが開きます。

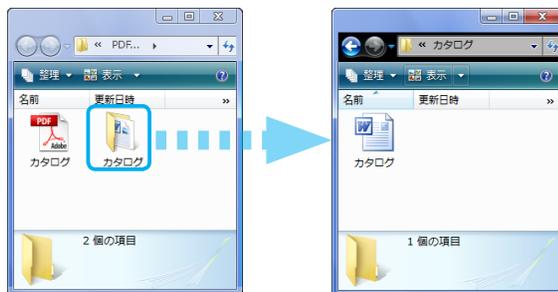
[JPEG/BMP] を選択し、複数ページの PDF ファイルをドラッグ＆ドロップした場合

1 ページごとに 1 つの画像ファイルが作成されます。各ファイル名の末尾には連続した数値番号が付加され、別名で保存されます。

「読取革命」を選択した場合

「読取革命」が起動し、TIFF ファイルに変換された画像ファイルが表示されます。複数ページ構成の PDF ファイル、または複数の PDF ファイルの場合は、複数ページの TIFF ファイル「簡単！ PDF_(連番).tif」が 1 ファイル作成され、「読取革命」に読み込まれます。

※作成された TIFF ファイルは、「ドキュメント」の“¥ 読取革命 ¥ 簡単！ PDF.tif”に保存されます。

※ Windows XP では、「マイ ドキュメント」が「ドキュメント」に相当します。

3 実行結果

変換前のファイルが置かれているフォルダー内に変換前のファイルと同名のフォルダーが自動的に作成され、そのフォルダー内に変換処理後のファイルが作成されます。

簡単！ PDF 変換

簡単！ PDF 変換の概要

「簡単！ PDF 変換」は、「読取革命」インストール時にインストールされる独立したアプリケーションです。「読取革命」を起動することなく使用できます。
画像ファイルを右クリックすると表示されるコンテキストメニューから「簡単！ PDF 変換」を選択して、ダイレクトに PDF ファイルに変換します。

基本操作の流れ

「簡単！ PDF 変換設定」を表示する

↓

変換時の詳細を設定する

変換する PDF ファイルの種類、保存方法、画質、フォントを設定します。

↓

簡単！ PDF 変換を実行する

選択したパソコン内の画像ファイルを右クリックし、コンテキストメニューから「簡単！ PDF 変換」を選択します。

↓

PDF ファイル形式で作成・保存される

変換前の画像ファイルが置かれているフォルダー内に画像ファイルと同名の PDF ファイルが作成されます。

簡単！ PDF 変換の設定

変換する PDF ファイルの種類、保存方法、画質、フォントを設定します。

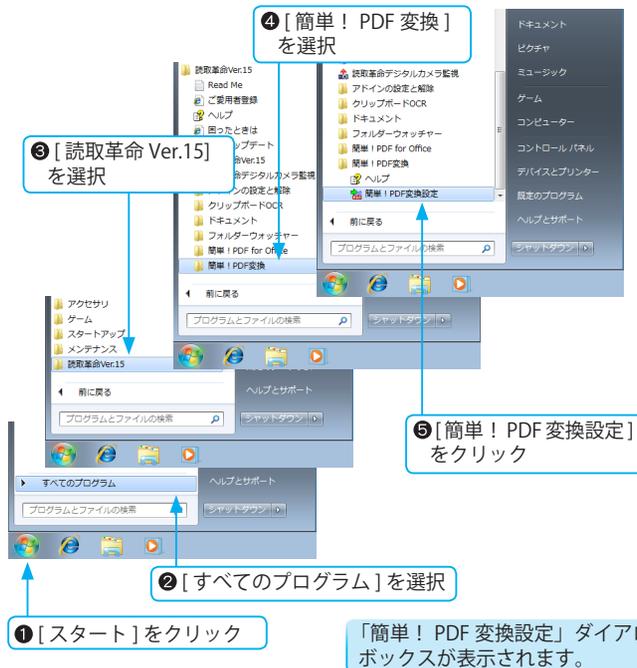
1 メニューを選択する

「簡単！ PDF 変換設定」ダイアログボックスが表示されます。

※ [スタート]-[すべてのプログラム] の表示は、お使いの OS によって異なります。

2 設定する

簡単！PDF変換

簡単！ PDF 変換設定 ダイアログボックスの詳細

①種類

変換する PDF ファイルの種類を設定します。

[PDF]：

元画像の上に文字認識で再現された文字色の認識結果を重ねて、出力します。

[PDF(透明文字)]：

元画像の上に透明の認識結果を重ねて、出力します。

[PDF(高圧縮)]：

文字画像と背景画像の上に透明の認識結果を重ねて、高い圧縮率で出力します。

②認識結果の転送と保存

変換する PDF ファイルの作成方法を設定します。

[斜体を反映する]：

斜体文字を PDF ファイルに反映する場合に設定します。

[1 つの PDF ファイルにまとめる]：

複数の画像ファイルを 1 つの PDF ファイルにまとめて変換する場合に設定します。

③画質

変換する PDF ファイルの画質を設定します。

[低画質]：

PDF ファイルを低画質で保存します。

[標準]：

PDF ファイルを標準画質で保存します。

[高画質]：

PDF ファイルを高画質で保存します。

[最高画質]：

PDF ファイルを最高画質で保存します。

※ ファイルサイズは 4 つの中でもっとも大きくなります。

④日本語用フォント

日本語用のフォントを選択します。

選択できるフォント名

・MS P ゴシック
・MS P 明朝
・MS ゴシック
・MS 明朝

PDF ファイルに変換する

パソコン内に保存されている画像ファイルを選択して PDF ファイルに変換します。

変換対象となる画像ファイル形式

- TIFF ファイル (*.tif,*.tiff)
  ※非圧縮 /G3 圧縮 /G4 圧縮 /JPEG 圧縮 / Exif/PackBits に対応
- BMP ファイル (*.bmp)
- JPEG ファイル (*.jpg,*.jpeg)
- PNG ファイル (*.png)
- GIF ファイル (*.gif)

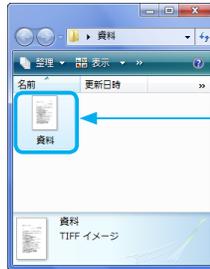
複数ファイル変換での注意点

- 変換対象外の画像ファイルを含む複数ファイルを選択した場合、変換対象外のファイルは変換されません。
- 複数のファイルを 1 つのファイルにまとめて変換する場合は、「簡単！ PDF 変換設定」ダイアログボックスの [1 つの PDF ファイルにまとめる] チェックボックスをオンにし、複数ファイルを選択後、PDF ファイル名に設定する画像ファイル上で右クリックして変換してください。
- 変換中に [中止] をクリックした場合は、既に変換された画像ファイルの数に応じて、PDF ファイルが作成されます。ただし、「簡単！ PDF 変換設定」ダイアログボックスで [1 つの PDF ファイルにまとめる] チェックボックスがオンの場合、変換中に [中止] をクリックすると、PDF ファイルは作成されません。

ファイル名の重複

変換後の PDF ファイルが保存されるフォルダーに同名のファイルが存在する場合、各ファイル名の末尾には連続した数値番号が付加され、別名で保存されます。

※画像ファイル内に文字認識された領域がない場合は、画像領域として PDF ファイルが作成されます。

1 画像ファイルを選択する

※複数の画像ファイルを選択して、一度に変換できます。

2 メニューを選択する

3 実行結果

付録

エラー・メッセージ

エラーメッセージが表示された場合は、以下の表をご覧になり、対策を実行してください。対策を実行しても解決しない場合は、パナソニック P3 カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。(☞「アフターサービス」基本編 P.179)

■アドインの設定と解除 エラー・メッセージ

	メッセージ	原因	対策
英数	Acrobat アドインを設定または解除できません。 管理者ユーザー (Administrator) で行ってください。	Acrobat のアドイン設定と解除は、制限ユーザーでは行えません。	コンピューターの管理者権限をもつユーザーで再度実行してください。
	Microsoft Excel の起動に失敗しました。	お使いの環境が不安定な状態になっている可能性があります。	コンピューターを再起動してください。
	Microsoft PowerPoint の起動に失敗しました。	お使いの環境が不安定な状態になっている可能性があります。	コンピューターを再起動してください。
	Microsoft Word の起動に失敗しました。	お使いの環境が不安定な状態になっている可能性があります。	コンピューターを再起動してください。
	OLE の初期化に失敗しました。 OLE ライブラリーのバージョンが正しいことを確認してください。	「アドインの設定と解除」の動作に必要な環境が整っていません。	「読取革命」を再度インストールしてください。
さ行	既にアプリケーションが起動されています。	「アドインの設定と解除」を多重起動しようとしています。	「アドインの設定と解除」は多重起動できません。
や行	読取革命が見つかりません。	「読取革命」が起動できませんでした。	「読取革命」を再度インストールしてください。
	読取革命の起動に失敗しました。	「読取革命」が起動できませんでした。	「読取革命」を再度インストールしてください。
	読取革命の情報が見つかりません。	「読取革命」が起動できませんでした。	「読取革命」を再度インストールしてください。

■クリップボード OCR エラー・メッセージ

	メッセージ	原因	対策
さ行	既にアプリケーションが起動されています。	「クリップボード OCR」を多重起動しようとしています。	「クリップボード OCR」は多重起動できません。
は行	ブラウザーの起動に失敗しました。	WWW ブラウザーが正常にインストールされていません。	WWW ブラウザーをインストールしてください。
	ヘルプの起動に失敗しました。	表示するヘルプのページが見つかりませんでした。または、ヘルプファイルが見つかりませんでした。	[ヘルプ] メニューからヘルプを表示してください。または、「読取革命」を再度インストールしてください。
や行	予期しないエラーが発生しました。	認識処理中に問題が発生し、処理を中止しました。	「クリップボード OCR」を一度終了し、再度実行してください。

■フォルダーウォッチャー エラー・メッセージ

	メッセージ	原因	対策
あ行	アクセス権限がないため、アプリケーションを起動できません。	作業フォルダーへのアクセス権限がないユーザーで起動しようとしています。	アクセス権限を追加するか、コンピューターの管理者権限をもつユーザーで実行してください。
か行	監視フォルダーに指定されたパスが見つかりません。	監視フォルダーに指定されたフォルダーが見つかりません。	「環境設定」で存在するフォルダーを指定してください。
	監視フォルダーに指定されたフォルダーへの書き込み権限がありません。 アクセス権の取得については管理者に相談してください。	制限ユーザーで、監視フォルダーに書き込み不可のフォルダーを指定しました。	書き込み可能なフォルダーを指定してください。
	監視フォルダーのパスが長すぎます。	指定可能なパスの長さを超えています。	指定可能な長さの範囲で指定してください。
	監視フォルダーを指定してください。	監視フォルダーが指定されていません。	「環境設定」で監視フォルダーを指定してください。

	メッセージ	原因	対策
さ行	実行中にエラーが発生しています。確認してください。	認識処理中に問題が発生し、処理を中止しました。	状態ウィンドウに表示されるログを確認し、問題を解決してください。
	出力フォルダーに指定されたパスが見つかりません。	出力フォルダーに指定されたフォルダーが存在しません。	「環境設定」で、存在するフォルダーを指定してください。
	出力フォルダーに指定されたフォルダーへの書き込み権限がありません。 アクセス権の取得については管理者に相談してください。	制限ユーザーで、出力フォルダーに書き込み不可のフォルダーを指定しました。	書き込み可能なフォルダーを指定してください。
	出力フォルダーのパスが長すぎます。	指定可能なパスの長さを超えています。	指定可能な長さの範囲で指定してください。
	出力フォルダーを指定してください。	出力フォルダーが指定されていません。	「環境設定」で出力フォルダーを指定してください。
	既にアプリケーションが起動されています。	「フォルダーウォッチャー」を多重起動しようとしています。	「フォルダーウォッチャー」は多重起動できません。
	既に出力するファイルが存在しています。	「環境設定」-[ファイル名設定]タブで、[ファイル名に数値をつけて別名にする]を選択し、重複するファイルが999を超えたため数値が付けられませんでした。	重複するファイルを削除、または移動して再度実行してください。
	前回実行中にエラーが発生しています。 確認してください。	前回の実行時に問題が発生し、変換処理中に「フォルダーウォッチャー」が終了している可能性があります。	状態ウィンドウに表示されるログを確認し、問題を解決してください。
た行	ディスクの空き容量が不足しています。 不要なファイルを削除してください。	「読取革命」をインストールしたハードディスクドライブ、または出力フォルダーに指定されているハードディスクドライブの空き容量が不足しています。	「読取革命」をインストールしたハードディスクドライブ、または出力フォルダーに指定されているハードディスクドライブから不要なファイルを削除してください。
	ディスクの空き容量が不足しています。 不要なファイルを削除してください。 監視を中断しました。	空き容量が不足したため、監視処理を中止しました。	出力フォルダーに指定されているハードディスクドライブから不要なファイルを削除してください。
な行	ネットワーク上のフォルダーは指定できません。	ネットワーク上のフォルダーが指定されました。	ネットワーク上のフォルダーは指定できません。パソコン内のフォルダーを指定してください。
は行	フォルダー監視間隔には1～60までの数字を指定してください。	フォルダー監視間隔に1～60以外の数値、または文字列が指定されています。	1～60までの半角数字を入力してください。
	フォルダー監視間隔を指定してください。	フォルダー監視間隔が指定されていません。	「環境設定」で、フォルダー監視間隔を指定してください。
	ヘルプの起動に失敗しました。	表示するヘルプのページが見つかりませんでした。または、ヘルプファイルが見つかりませんでした。	[ヘルプ]メニューからヘルプを表示してください。または、「読取革命」を再度インストールしてください。
ま行	メモリーが足りません。 他のアプリケーションを閉じてください。	処理を実行するための十分なメモリーがありません。	不要なアプリケーションを終了し、再度実行してください。 解決しない場合は、仮想メモリーを増やすか、メモリーを増設してください。 (Windowsやご使用のパソコンの説明書を参照してください。)
	メモリーが足りません。 他のアプリケーションを閉じてください。 監視を中断しました。	メモリー不足のため監視処理を中止しました。	不要なアプリケーションを終了し、再度実行してください。
や行	予期しないエラーが発生しました。	認識処理中に問題が発生し、処理を中止しました。	「フォルダーウォッチャー」を一度終了し、再度実行してください。

■簡単！ PDF 変換 エラー・メッセージ

	メッセージ	原因	対策
英数	1000 ページ以上の PDF ファイルは作成できません。	1000 ページ以上の画像ファイルを PDF ファイルに変換しようとしています。	999 ページ以内で画像ファイルを変換してください。
	PDF ファイルへの変換に失敗しました。	「読取革命」をインストールしたハードディスクドライブの空き容量が不足しています。または、メモリー不足の可能性があります。	「読取革命」をインストールしたハードディスクドライブから不要なファイルを削除してください。メモリー不足の場合は、不要なアプリケーションを終了し、再度実行してください。
か行	現在の起動モードでは実行できません。	Windows XP の「別のユーザーとして実行」ダイアログボックスにある [許可されていないプログラムの動作からコンピュータとデータを保護する] チェックボックスをオンにした状態で、「簡単！ PDF 変換設定」ダイアログボックスを起動しようとしました。	Windows XP の「別のユーザーとして実行」ダイアログボックスにある [許可されていないプログラムの動作からコンピュータとデータを保護する] チェックボックスをオフにして、「簡単！ PDF 変換設定」ダイアログボックスを起動してください。
	この形式の画像ファイルは読めません。	画像ファイルが壊れているか、「簡単！ PDF 変換」で対応していない形式の画像ファイルを読み込もうとしています。	対応している画像ファイルを読み込んでください。
さ行	処理中です。 処理が終了後、再度実行してください。	前回の変換処理中に、再度変換が実行されました。	前回の変換処理が終了してから、再度変換を実行してください。
	既にアプリケーションが起動されています。	「簡単！ PDF 変換設定」ダイアログボックスを多重起動しようとしています。	「簡単！ PDF 変換設定」ダイアログボックスは多重起動できません。
た行	ディスクの空き容量が不足しています。 不要なファイルを削除してください。	「読取革命」をインストールしたハードディスクドライブの空き容量が不足しています。	「読取革命」をインストールしたハードディスクドライブから不要なファイルを削除してください。
は行	ファイルの保存ができませんでした。画像ファイルをデスクトップなどの書き込み可能な場所にコピーしてから変換を行ってください。	保存先のフォルダーが書き込み不可になっているか、保存先のハードディスクドライブの空き容量が不足している可能性があります。	保存先のフォルダーを書き込み可能な状態に設定してください。または、保存先のハードディスクドライブから不要なファイルを削除してください。
	ヘルプの起動に失敗しました。	表示するヘルプのページが見つかりませんでした。または、ヘルプファイルが見つかりませんでした。	[ヘルプ] メニューからヘルプを表示してください。または、「読取革命」を再度インストールしてください。
ま行	メモリーが足りません。 他のアプリケーションを閉じてください。	処理を実行するための十分なメモリーがありません。	不要なアプリケーションを終了し、再度実行してください。 解決しない場合は、仮想メモリーを増やすか、メモリーを増設してください。 (Windows やご使用のパソコンの説明書を参照してください。)
や行	予期しないエラーが発生しました。	認識処理中に問題が発生し、処理を中止しました。	再度変換を実行してください。

用語解説

ADF
Auto Document Feeder の略。原稿を自動的に連続して読み込む装置。

ANI
アニメーションのカーソルファイルに与えられる拡張子。

AVI
Audio Video Interleaved Format の略。RIFF 仕様を採用したサウンドや動画のための Windows マルチメディアファイル形式。

BMP
画像ファイルの書式の 1 つ (ビットマップ)。画像ファイルを扱うアプリケーションの多くが対応している。

CLP
Windows のクリップボードの内容を保存したファイル形式。

CSV
表計算ソフトで使用するファイル書式。Microsoft Excel や Lotus1-2-3 などで使用できる。

CUR
カーソルファイルに与えられる拡張子。

CUT
Dr.Halo ファイル形式の 1 つで、デバイス非依存型の画像ファイル。

DCF
Design rule for Camera File system の略。日本電子工業振興協会の規格。デジタルカメラ、および関連機器における画像ファイル、画像に関連するファイルの記録、再生など取り扱いに関する仕様。

DCX
米 Zsoft 社が開発した複数ページ対応のビットマップファイルフォーマット。パソコン用のビットマップアプリケーションの多くが対応している。

DOC
ワープロソフトで使用するファイル書式。Microsoft Word で使用できる。

DOCX
ワープロソフトで使用する Microsoft Office Open XML(OpenXML) に対応したファイル書式。Microsoft Word 2007 で使用できる。

EMF
Enhanced Meta File の略。図や絵などクリップアートを保存する画像ファイル形式。

EPS
Encapsulated PostScript File の略。解像度の低いディスプレイでの表示用データを内部にもった PostScript ファイル形式。

FLC
Autodesk 社のソフトウェアで使用される動画ファイル形式。

FPX
Hewlett-Packard 社、Eastman Kodak 社、Live Picture 社、Microsoft 社 が共同で開発した Flash Pix という画像ファイル形式の 1 つ。複数の解像度のデータを 1 つのファイルにもち、出力に応じて適切な解像度で表示できる。

FXS
画像ファイル形式の 1 つ。Delrina 社によって開発された FAX 形式の画像フォーマット。

GIF
Graphics Interchange Format の略。CompuServe 社で開発された画像形式。256 色までの画像を保存できる。

HTML
Hyper Text Markup Language の略。文章の中に画像や音声、動画にリンクをもたせ、クリックすることで関連項目を表示できる。インターネットのブラウザーで閲覧できる。

ICA
IBM によって開発されたファイル形式。「読取革命」では、MO:DCA 形式 CCITT Group3、または Group4 画像の IOCA ファイルと MO:DCA なしの形式に対応している。

ICO
アイコンファイルに与えられる拡張子。

IFF
コモドール社製のアミガシステムとファイルのやりとりをする場合に使用される形式。グラフィックス以外に音声の保存も可能。

ITG
Intergraph 社の ITG で単色のビットマップ形式で保存される。

JPEG
Joint Photographic Coding Experts Group の略。カラー静止画像の圧縮方式の国際規格。フルカラー画像のファイルサイズを小さく抑えたい場合によく用いられる。「読取革命」では、JTIF/JFIF/ プログレッシブ JPEG/Exif 形式の読み込みが可能。

JTD
ワープロソフトで使用するファイル書式。一太郎で使用できる。

PBM
Portable Bitmap Utilities で定義されているファイル形式の 1 つ。pbm はモノクロファイル形式となる。

PCD
Eastman Kodak 社と Philips 社が共同で開発した PhotoCD という CD-ROM の規格。写真画像をデジタルデータとして収録できる。

PCT
Macintosh で一般的な画像ファイル形式。QuickDraw で使用される。

PCX

米 Zsoft 社が開発したビットマップファイルフォーマット。海外で幅広く使用されている画像ファイル形式の 1 つ。PC 用のビットマップアプリケーションの多くが対応している。

PDF

Portable Document Format の略。Adobe Systems 社が開発し、特定のプラットフォームに依存せずに表示できる。

PNG

Portable Network Graphics の略。GIF 形式よりも多くの色数が扱え、圧縮してもデータの損失がない。現在 Web 上で使われる GIF や JPEG に代わるものといわれている。

PPT

プレゼンテーションソフトで使用するファイル書式。Microsoft PowerPoint で使用できる。

PPTX

プレゼンテーションソフトで使用する Microsoft Office Open XML(OpenXML) に対応したファイル書式。Microsoft PowerPoint 2007 で使用できる。

PSD

Adobe Systems 社の Adobe Photoshop で作成されたファイル形式。

QR コード

2 次元コードの一種で、株式会社デンソーウェーブが開発。縦、横に情報をもつことで、記録できる情報量を増加させたコード。

RAS

Sun Raster 形式で、UNIX では、ごく一般的に使用されるファイル形式。

RGB

光の 3 原色をコンピューターで表現する表記法の 1 つ。R(赤)、G(緑)、B(青) の組み合わせですべての色が表現できる。

RTF

Rich Text Format の略。文字サイズなどの文字属性を含む文書情報を記述したファイル書式。Microsoft Word、ワープロソフトなどで使用できる。

SGI

Silicon Graphics 社のワークステーションで作成された RGB 形式のファイル。

TGA

Truevision 社のグラフィックボードで使用されていた画像形式。TGA は Targa のビットマップ形式ファイル。

TIFF

Tag Image File Format の略。ファイルを圧縮して保存できる。複数の圧縮形式に対応しているが、「読取革命」では、G3、G4 圧縮、非圧縮、JPEG、Exif、PackBits の形式の読み込み、非圧縮、JPEG 圧縮および G4 圧縮の保存に対応している。

TXT

文字データを扱うための基本的なファイル書式 (テキスト)。ワープロソフトなど、文字を扱うアプリケーションで使用される。

WIA

Windows Imaging Acquisition の略。画像をスキャナー、デジタルカメラなどの周辺機器から取り込む機能。TWAIN が行っていた機能を Windows の機能として提供することで、アプリケーションソフトウェアを使わすに取り込みが行える。

WMF

Windows Meta File の略。図や絵などクリップアートを保存する画像ファイル形式。

WPG

コーレル社の Draw 系ソフトやワードプロセッサーで使用されるファイル形式。

XBD

富士ゼロックス社の DocuWorks バインダー文書。「読取革命」では、DocuWorks 6 に対応している。

XBM

MIT で開発された X Windows システムで使用されるカーソルとアイコン用のファイル形式。

XDW

富士ゼロックス社の DocuWorks 文書。「読取革命」では、DocuWorks 6 に対応している。

XLS

表計算ソフトで使用するファイル書式。Microsoft Excel で使用できる。

XLSX

表計算ソフトで使用する Microsoft Office Open XML(OpenXML) に対応したファイル書式。Microsoft Excel 2007 で使用できる。

XML

eXtensible Markup Language の略。文字、画像、動画、音を統合管理し、統一した操作性で処理するための形式。

XPM

X Windows システムで使用される X PixMap 形式。メモ帳などで表示できる。

XPS

XML Paper Specification の略。Microsoft 社が開発した、文書を閲覧、印刷するための XML ベースのフォーマット。Windows や Microsoft Office が対応していない場合は、XPS Viewer のインストールが必要。

XWD

X Windows システムで画面上のウィンドウの内容を保存するファイル形式。

グレースケール

灰色を何階調で表現するかをビット数で表す。8 ビット (256 階調)、16 ビット (65536 階調) の階調情報をもった画像データの表現方式。

チェックボックス
　オプション項目の選択や非選択を決めるボックス。
ドライバー
　パソコンの画面からスキャナーを動作させるためのソフトウェアです。
ラジオボタン
　グループの中から１つの項目を選択するボタン。
領域枠
　「読取革命」で画像を文字認識するための属性 (文字・表・画像・図形) や、範囲を表す枠。領域枠の設定は、自動・手動いずれも可能。
レイアウト認識
　「読取革命」で入力された画像の文字 (横書き / 縦書き)・表・画像・図形の属性を判定し、領域枠を設定すること。

索引

【英数字】

【あ行】

【か行】

【さ行】

【た行】

【な行】

【は行】

【ま行】

【や行】

【ら行】

付録

製品名	日本語・英語活字カラー OCR ソフト 「読取革命 Ver.15」
品番	PTS-RPN0015 PTS-RPV0015 PTS-RDN0015
取扱説明書	「読取革命 Ver.15」　取扱説明書 応用編 2012 年 9 月　　第 1 版

パナソニック株式会社
パナソニック ソリューションテクノロジー株式会社
〒 105-0013
東京都港区浜松町 1 丁目 17 番 14 号　浜松町ビル

O0812-0
PTS01151ZA